

H29 議会報告と町民との意見交換会

総括報告書



平成30年5月
芽室町議会

目次

■PTAとの意見交換会.....	5
■団体との意見交換会	26
■高校生との意見交換会.....	47
■議会未来フォーラムⅢ	53
■議会モニター経験者との意見交換会	64

開催状況等

	団 体 名	開 催 日	開 催 場 所	参加数	発言数
1	上美生小・中学校	11月10日(金) 15:00～16:30	上美生生活改善センター	28	68点
2	芽室小学校	11月13日(月) 19:00～20:30	学校 会議室	10	17点
3	芽室西中学校	11月21日(火) 19:00～21:00	学校 第1会議室	11	7点
4	芽室南小学校	11月21日(火) 19:00～21:00	学校 会議室	12	29点
5	芽室中学校	11月22日(水) 20:00～21:00	学校 3年D組教室	18	18点
6	芽室西小学校	12月14日(水) 19:15～20:30	学校 家庭科室	20	42点
	6校	6日	6会場	99人	181点
7	市街地町内会連合会 役員（総務経済）	6月17日（土） 14:00～15:00	町民活動支援センター 会議室	6	11点
8	社会福祉協議会役員 （厚生文教）	8月24日（木） 18:00～19:30	中央公民館 図書資料室	9	11点
9	商工会青年部役員 （総務経済）	10月18日(木) 18:00～20:00	商工会会議室	7	25点
10	新あらし山友の会・めむろ農家民泊研究 会、MEMUROワインヴァレー研究会 （総務経済）	11月14日(水) 19:00～20:00	中央公民館 2階講堂	15	56点
11	芽室町農業委員会三 役等（総務経済）	12月27日(木) 13:30～15:00	役場地下第2・3会議室	6	16点
12	長芋生産組合役員等 （総務経済）	2月20日（火） 15:00～15:33	芽室町農協 会議室2	15	8点
	8団体	6日	6会場	58人	127点
13	芽室高校 新聞局・生徒会	12月6日（水） 16:00～18:15	芽室高校 会議室	19	20点
14	白樺学園高校吹奏楽 部・サッカー部	12月18日(月) 15:00～17:15	白樺学園高校 会議室	20	43点
	2校	2日	2会場	39人	63点
15	未来フォーラムⅢ	2月10日（土） 14:30～17:00	「めむろーど」2F セミナーホール	73人	204点
	1フォーラム	1日	1会場	73人	204点
16	議会モニター経験者	1月15日（月） 19:00～20:30	ふれあい交流館 2階大 ホール	8	52点
	合計	16日	16会場	277人	627点

発言等の内訳（PTA＋団体＋議会モニター経験者）

大分類	所管委	内 容
A 議会 3 項目	議会運営 3 項目	1 議会だよりについて 3 2 議会モニター制度について 37 3 意見交換会について 4
B 総務・行財政 7 項目	庁舎建設 特委 1 項目	1 役場庁舎建設について 1
	総務経済 委 6 項目	1 じゃがバスについて 4 2 地域公共交通について 22 3 交通安全について 1 4 放置自転車について 1 5 災害告知用端末について 11 6 パブリックコメントについて 1
C 教育・文化 14 項目	厚生文教 委 22 項目	1 PTA 活動について 1 2 クラス編成について 3 3 スクールバスについて 6 4 学習環境・学校配置計画について 14 5 給食について 1 6 教員について 5 7 通学路について 3 8 複式学級について 4 9 放課後居場所について 3 10 奨学金について 1 11 スポーツ環境整備について 6 12 施設環境・安全対策について 12 13 社会教育施設について 1 14 インターネット環境整備について 5
D 生活・環境 2 項目		1 ごみ対策について 3 2 住環境について 2
E 健康・医療・ 福祉 6 項目		1 公立芽室病院について 16 2 子どもの居場所・貧困対策について 7 3 子ども医療費について 4 4 子育て支援全般について 4 5 発達支援体制について 3 6 社会福祉協議会の現状と課題について 11
F 産業・経済 8 項目		1 観光全般について 12 2 サイクルツーリズムについて 7 3 天空カフェについて 5 4 新嵐山荘・スカイパークについて 105 5 中心市街地空洞化について 7 6 商工業の振興策について 5 7 農業委員会業務・体制について 8 8 農業残渣物について 8
G 建設・都市 計画 2 項目		1 河川管理について 1 2 公園について 1
計 42 項目		360 点

発言等の内訳(高校生)

大分類		内 容
1.議会だより	紙面構成	誌面校正について 19
	編集方針 企画内容	編集方針・企画内容について 17
2.その他	議会との 意見交換	議会との意見交換について 5
	議会モニ ター制度	モニター制度全般について 6
	議会運営	SNS の活用について 4
	学校教育 の充実	通学路について 6 施設環境について 1
	まちづく り	まちづくり全体について 5
計 7 項目		63 点

発言等の内訳(未来フォーラムⅢ)

大分類		内 容
町に関わりたい理由と関わりに くい理由		関わったこと・関わりたいこと 42
		関わりにくい理由 35
多世代で町に関わることによる 可能性と難しさ		関わり易さや可能性 34
		難しさ 49
今後あなたができること みんなのできること		自分ができること 43
		みんなのできること 1
計 6 項目		204 点

■PTAとの意見交換会

1 上美生小中学校 P T A

日 時：	平成 29 年 11 月 10 日（金） 15:00～16:30
場 所：	上美生生活改善センター
出席者数：	28 人
出席議員：	中野、中村、梅津、常通、柴田、早苗、立川、渡辺



2 芽室小学校 P T A

日 時：	平成 29 年 11 月 13 日（月） 19:00～20:30
場 所：	芽室小学校会議室
出席者数：	10 人
出席議員：	中野、中村、梅津、常通、渡辺



3 芽室西中学校 P T A

日 時：	平成 29 年 11 月 21 日（火）19:00～21:00
場 所：	芽室西中学校第一会議室
出席者数：	11 人
出席議員：	正村、高橋、寺町、梶澤、吉田



4 芽室南小学校 P T A

日 時：	平成 29 年 11 月 21 日（火）19:00～21:00
場 所：	芽室南小学校会議室
出席者数：	12 人
出席議員：	早苗、柴田、立川



5 芽室中学校 P T A

日 時：	平成 29 年 11 月 22 日（水） 20:00～21:00
場 所：	芽室中学校 3 年 D 組教室
出席者数：	18 人
出席議員：	中野、中村、梅津、常通、渡辺



6 芽室西小学校 P T A

日 時：	平成 29 年 11 月 10 日（金） 19:00～20:20
場 所：	芽室西小学校家庭科室
出席者数：	20 人
出席議員：	正村、高橋、寺町、梶沢、吉田、早苗、立川、西尾



6 P T Aとの意見交換会 議論内容

※対応例：①委員会に報告、②その場で回答、③意見として伺う、④その他

■総務経済常任委員会

1 抽出 事務事業

(1) 地域資源を活用した観光の振興

■ サイクルツーリズム

- ・[上小中] サイクリング専用ロードがなく車道を走られると正直なところ邪魔だと思ってしまう。歩道を走る方が田舎では安全な気がする。
- ・[上小中] インフラの整備は大切だと思う。
- ・[上小中] 地元の運転者にもサイクルツーリズムへの理解を深めてもらう必要がある。
- ・[南小] サイクルツーリズムは中札内のイベント（グルメフォンド）と連携できると良いのではないかな。
- ・[芽中] サイクルツーリズムについて、サイクリングコースの整備やコースの公表などの計画はどうなっているのか。

→②その場で回答

■ 新嵐山荘・スカイパーク

- ・[上小中] 昨年も意見を述べたがスキー場のナイター営業と嵐山荘のレストランやお風呂の営業終了時間が同時では利用者が不便を感じている。ナイタースキーを利用した方達が食事をしたりお風呂を利用できるような営業時間にしてほしい。
- ・[上小中] 海外ツアーとの連携
- ・[上小中] 新嵐山キャンプ場の活用（例）手ぶらで来ても食材などが準備されているグランピングなど。芽室の食材を活かし、冬季間も利用できると良い。このまま閉鎖してはダメだと思う。
- ・[上小中] 新嵐山スカイパークは楽しくなければお客さんが来ない。今はこれといった『売り』が無い。
- ・[上小中] 山村留学で上美生に来るまでは芽室町のことを何一つ知らなかった。来てみたら素晴らしいところ。PRが足りていないと思う
- ・[上小中] 嵐山は地域にとっては無くてはならないもの(教育的視点)
- ・[上小中] スキー場は町営で運営維持して欲しい
- ・[上小中] 宿泊施設は必要か疑問

- ・[上小中] 新得山はスキー場のみで宿泊施設が無くてもスキー場は賑わっている。
- ・[上小中] 赤字部門は無くす勇氣も必要。赤字部門を補う為にリフト代など値上げしては本末転倒と思う。子どもたちにとっては近くにあってよい施設。
- ・[上小中] 夏季は遠足・キャンプ場で炊事遠足など利用させてもらっている。
- ・[上小中] サイクルツーリズムとは何ですか？
→（中野委員長説明、おおむね理解いただく）
- ・[上小中] 嵐山は何を目的にするのか？対象を町内・町外・年齢などはっきりさせないと駄目だと思う。
- ・[上小中] 現状でよい。欲張ったら駄目だと思う。
- ・[上小中] これからも続けてもらいたい。
- ・[上小中] 温泉があったらいい。
- ・[上小中] 夏もキャンプ場、スキー場コースでグラススキーを行うなど、もっと活用できるのでは。
- ・[芽小] キャンプ場の復旧スケジュールは？ 自分も小さい頃から使ってきて親しみがある。こどもたちのためにも直してほしい。スキー場やキャンプ場はもっと海外からの客も意識しては。
→①委員会に報告
- ・[芽小] キャンプ場は災害復旧費で直らないのか？
→②その場で回答
→対象にならないと担当課に聞いていることを説明。
- ・[芽小] 先日ママ友たちと嵐山荘に宿泊した。食事もスタッフの対応もよかった。また来年も利用したいので以下の点について改善してほしい。→①委員会に報告 ④商工振興課に伝える
 - ①あいちゃんカード、子育てカードが使えるようにしてほしい。
 - ②浴室の脱衣場にのれん又はつい立てがほしい。
- ・[南小] 冬場子どもが利用するには良い施設だが、夏場は子どもが遊べるものが無く他の町村まで出かけてしまう。子どもが遊べる遊具があるとよい。
- ・[南小] 冬はスキー場、夏はキャンプ場を利用していた。今後、改修費用が膨大になるというのであれば、宿泊施設を無くし、キャンプ場を整備した方がよいのではないか。現在の宿泊施設はキャンプ場利用者の入浴と食事をまかなう場所にすれば、冬期間の

宿泊施設維持にかかるコスト削減にもなるのではないか。さらには冬場もキャンプ可能にしても良いのではないか。（宿泊者数の伸び悩みから）

- [南小] 民間に譲渡してしまうと簡単に手放されてしまう可能性はないか？
- [南小] スキースクールがあるのはよい事である。また、送迎バスが帯広まで運行しているので学生も利用しやすいのではないか。
- [南小] リフトの更新をしない→いずれスキー場が閉鎖となる→嵐山の存在価値が無くなる、という負の連鎖が起きるのはよくないが、費用対効果も重要で、それを判断するには新嵐山スカイパーク全体の整備にいくらかかるのか、きちんとした財政計画を示す必要があると思う。
- [南小] 施設整備をしてスポーツ合宿を誘致してはどうか。帯広の森にも送迎してあげれば利用者の利便性高まるのではないか。
- [南小] 温泉を掘るのが難しいのなら、他から温泉を運んではどうか。
- [南小] われわれに意見を聞いている理由は、嵐山を残した方がよいかどうかの議論なのか？何を問われているのかを明確にしてほしい。
- [南小] 食を中心にした観光施設にするとよいのでは。
- [南小] かつては嵐山を会場にお祭りや産業観光のイベントが開かれていた。現在の芽室公園を会場にしていたのでは駐車場が足りなくて行きにくい。嵐山をイベント会場にしてはどうか。
- [南小] 町の中に分散しているスポーツ施設を嵐山に集約してはどうか。
- [南小] 展望台の活用法をもっと考えるべき。
- [芽中] 芽室の花火はよかったとねと言う声を周りからも聞いている。四季を問わず総合的に嵐山を活用して、食育なども含めて観光振興を考えてほしい。→①委員会に報告
- [芽中] 嵐山に働いている全員がツイッターでつぶやくなど、ここにいけばこういうことができますよというような情報発信も必要。
→①委員会に報告
- [芽中] いろいろな若者が寄れるような場所になってほしい。
→①委員会に報告

- ・[芽中] 嵐山の近くに住んでいる。スキー場も町民限定など、特典があると利用客が増えるのでは。他のスキー場との違いを認識して良さを伸ばしていけばどうか。→①委員会に報告
- ・[芽中] 冬はスキー、夏は産業観光祭りなどが小さいころから印象に残っている。そういった活用の仕方を再度考えていくのもよいのでは。→①委員会に報告
- ・[芽中] 嵐山であればスキーと食事をマッチングしたりつなげたりすることが有効だと思う。さまざまなつなげる効果を考えてすすめてほしい。→①委員会に報告
- ・[西小] 新嵐山の遊歩道の整備をさらに進めてほしい。
(回答) ご意見としてうかがう。
- ・[西小] 以前、夏冬イベントがあったが今はない。子供に見せたい(自分が小さい頃に行った)というイベントがあれば町民も、帰省した元町民も訪れると思う。
- ・[西小] イベントが少なくなり、現在あるイベントも内容がマンネリ化している。
- ・[西小] 食ベースのイベントばかりでなく体験ができるイベントが良い。
- ・[西小] サイクルツーリズムのコースに、生産者から物が買えたり、食べたりすることができる企画があっても良い。
(回答) ご意見としてうかがう。
- ・[西小] 高速道路のインターに新嵐山までの案内板を作り、町外の方にも PR をしてほしい。
(回答) ご意見としてうかがう。

■ 天空カフェ

- ・[南小] 期間限定というのが逆に良かったと思う。今後も継続してはどうか？

(2) 農村地域公共交通手段

■ スクールバス

- ・[上小中] すべての要望を満足させることは無理だと思うが、スクールバスの運行経路や台数に関しては PTA への要望として会員から意見をもらっている。台数については道道の通行止め解除以降も現状の運行形態を継続してほしい。
- ・[西小] 祖父母がスクールバスを利用して市街地に出かけている。

が、高齢者のいる路線はなくして欲しくない

（回答）所管委員会に伝える。

- ・[西小] 農村部から市街地に出てきた時や送迎など時間調整をする場所がない。居場所の整備を希望する。
- ・[西小] 無人運転者の実証実験が実用化されることを願っている。
（回答）ご意見としてうかがう。

■ 農村地域公共交通手段全体

- ・[上小中] 不便を承知で田舎の暮らしを満喫しているが、せめて自力で動けることが可能な公共交通機関があっても良いと思う。自家用車以外に移動手段がないのは困る。
- ・[上小中] 市街地で運行しているじゃがバスを農村地域に巡回させるのは非効率的なのでやらない方が良い。
- ・[上小中] デマンドタクシーのようなサービスは今後高齢化が進むと必ず必要になると思う。
- ・[上小中] 高齢者は足の確保が必須（上記デマンドタクシーのような）。今は家族で支援できているがいつまでも家族頼みの体制は続かないと思っている。
- ・[上小中] 年配者・子どもは市街地へ行く手段がないのが現状
- ・[上小中] 現在の検討状況は？
→（デマンドバス等の情報を提供）
- ・[上小中] 午前一便・午後一便程度あれば便利
- ・[上小中] 塾や習い事に自転車で行く場合があるがわれわれとしては事故等心配。
- ・[上小中] 瓜幕はバスが走っている。
- ・[上小中]（部バスの現状をお話いただく。）土日・夏季休暇等スクールバスが運行されていないときの移動手段に課題がある。
- ・[南小] 実際どれほどの人が交通手段に困っているのか実態の把握が必要ではないか
- ・[南小] 高齢者のニーズは、病院までの足の確保なのだと思う。以前、診察が終わり、夕方までかえりのバスが無いという近所のお年寄りに乗せて帰って来たこともある。マイクロバス程度のサイズで便数が増えると車の運転をしない高齢者には便利だと思う。
- ・[南小] 市街地の町民には運転免許返上後、コミバスの無料チケット配布などの支援があるが農村地域ではその支援が利用でき

ない。市街地と農村地域の格差があるのはよくないと思う。

- ・[南小] かつては今ほど交通弱者という問題が無かったように感じられる。なぜ今こうした問題が注目されているのか、そこに立ち返ってはどうか。

→かつては農村地域にもバスが運行していた経緯など早苗議員説明

■ ジャがバス

- ・[芽小] 自分は夫婦共働き。子どもは少年団に入っている。練習場所が総体、西小のことも多い。子どもがもっと利用しやすくしてほしい。学校間をつなぐような便。以前は利用していたが、りらくまで行くようになって時間帯がずれて使えなくなった。

→①委員会に報告 →③意見として伺う

- ・[芽小] 12月の忘年会シーズン、街中まで行ける便をつくるなどの工夫もできるのでは。乗りたいと思う時間帯に便がない。

→①委員会に報告 →③意見として伺う

- ・[芽中] ジャがバスの評価はどのようにされているのか。

→②その場で回答

- ・[芽中] 石狩市のことだったと思うが、図書館を拠点にして医療や福祉をつないでバスを運行している。図書館は人が集まる大切な拠点だと思うので、付加価値をつけながら町の活性化や生活を豊かにしてほしいと思う。→①委員会に報告

2 その他

■ 公園整備

- ・[芽小] 南町児童公園の遊具が全部撤去された。コーヒーカップの遊具はめずらしくて気に入っていたが残念。事前に説明なども聞いていなかったが、コーヒーカップはまた設置してほしい。

→①委員会に報告

③※町内会とは協議済。新規遊具についても了承済

■ 河川管理

- ・[芽小] 美生川の流木はいつ撤去されるのか

→②その場で回答

→道管理河川で順次行なっていると説明。

■ 放置自動車

- ・[芽小] 駅の駐車場にある放置自動車は見栄えも悪いので何とかしてほしい。→②その場で回答

→11月15日 撤去済み。

■ 交通安全

- ・[芽中] 芽室の子ども(高校生)は帯広市内へ通学するために帯広の森などの裏の道を使っている。道路も整備されていなく街灯などもなく暗い。道路の整備や草刈りなど、そうしたことに目も向けてほしい。子どもたちが通る道路の環境整備をお願いしたい。→①委員会に報告

■ 厚生文教常任委員会

1 抽出 事務事業

(1) 公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展

- ・[上小中] 医師の確保が大切だと思う
- ・[上小中] 医師がいなくならない(辞めない)運営をして欲しい。
- ・[上小中] 経営面で考えれば無くしても良い診療科があるのではないかと思う。
- ・[上小中] とても空いているように感じた。PR 不足なのか。
- ・[上小中] 夜間救急に連絡した際に、医師が足りないためか迅速な対応をして貰えなかった。
- ・[上小中] 産科は医師一人体制では負担が大きいのではないか。二人体制が良いと思う。
- ・[上小中] 維持・発展とあるが経営状態はどのような感じか？(常通議員より現状説明)
- ・[上小中] 健診で受診している。町民なのでいく機会はある。
- ・[上小中] 小児科があり、午後も夜間も診てもらえるのは本当にありがたい。
- ・[上小中] 上美生は1番近い病院が公立病院になる。利用する人も多く大切な存在となっている。
- ・[芽中] 子どもを生み育てるという観点から、公立病院の小児科を充実させてほしい。大切な病院なので医師の確保などどのようなになっているのか。→②その場で回答
→経営面で見るとかなり厳しい状況。改善プラン含めて説明。

- ・[西小] 小児科、産婦人科があるので大変有難い。
 - ・[西小] 病院が町内にあることで安心がある。
- (回答) ご意見としてうかがう。

(2) 高齢者福祉の充実

(ご意見なし)

(3) スポーツのしやすい環境づくり

- ・[上小中] 町内ではソフトテニスの方がプレーヤーが多いのではないかと(中学の部活もソフトテニス)。これからは軟式用のコート整備をして欲しい。オムニコート(人工芝に砂を敷き詰めた)を整備していけば良いと思う。
 - ・[上小中] 上美生では体育施設は小中学校が利用できるため十分に足りているが市街地のコミセンは今後軽スポーツができるように天井が高い施設に整備してはどうか。
 - ・[上小中] プールは改修すると聞いているが？
→(まだ決定事項は無いと説明)
 - ・[西小] 温水プールは新しく建て替えるのか？ほかにも足りていないスポーツ施設がある。芽室の柔道場は本来なら2面取れるだけの畳はあるが、様々な要因で1面しか取れず、大会を開くことができない。武道場の整備も求めたい。総体2階の柔道場は、日曜祝日には大会の控室などに使用され、少年団の練習ができない。芽室町の柔道少年団は二人も力士を出している伝統ある少年団だが、町の対応が不十分だと感じている。幕別町は子どもがたちスポーツしやすい環境づくりには熱心で手厚く、オリンピック選手も多く出ている。
- (回答) ご意見としてうかがう。
- ・[西小] 子どもにスポーツをさせたいが、教えてくれる指導者がみつからない。指導者を発掘してほしい。人材バンクを活用して子どもがスポーツに親しむ環境をつくってほしい。

(回答) 指導者の人材育成については課題と捉えている。ご意見としてうかがう。

(4) 学校教育の充実

■ クラス編成

- ・[上小中] 上美生小学校は全クラスで複式学級となったが、今後

もこのままなのか？授業の進行は大変そうだし担任の負担が大きいのと思う。ただし複式学級となったおかげで支援の先生がクラスに増えたのは良かった。

- ・[西小] 西小の良いところは少人数学級である。4年生までは2クラスあるが、5・6年生になると1クラスになる。高学年になっても2クラス編成になるようにお願いしたい。
- ・[西小] 4年生までの2クラス編成体制の維持を高学年になっても継続してほしい。

(回答) ご意見としてうかがう。

■ 教員

- ・[上小中] 学校教育には町として力を入れて欲しいし現在の芽室町の発達支援の体制は充実していると思うので今後も継続して欲しい。
- ・[上小中] 教員の超過勤務の状況について議会は認識し取り組んでいるか？(梅津議員が全国の状況などについて説明) 保護者の目には見えないが、教員の負担が子供達の教育現場に影響することを懸念している。部活動は休日进行を設けるようになっているようだ。
- ・[上小中] 修学旅行事業への教員個人負担の解消等要望事項→別紙資料配布説明
- ・[西小] 例えば、町が教員1人1人の勤務状況を把握できるようなシステムを開発するなど、きちんと働き方を管理していかないと、先生方の負担は減らないのではないか。

(回答) ご意見としてうかがう。

・[西小] 学校の先生が放課後少年団を指導する時の身分は『教員』ではなく業務でもない。先生の負担増につながらないのか。指導員が不足している現状を何とかしないとダメだと思う。指導中、万が一事故などがあつた際の補償は大丈夫なのか。子ども時代からスポーツに親しみやすい環境を整えることは子どもたちが大人になった時の財産にもなると思う。

(回答) ご意見としてうかがう。

■ インターネット環境整備

- ・[上小中] 現在ADSL。動画観るのも遅い状況。
- ・[上小中] 先日、今後進められる学習指導要領の研修を受けたが、電子黒板、タブレット、WiFiなどが普通となっていたが、上美

生の状況とはあまりにもかけ離れていると感じた。

- ・[上小中] 早急に進めてもらいたい。豊頃ではすでにタブレットを導入している。
- ・[上小中] トラクターも ICT が進んでいて、農家の子どもも多いので小さいうちから ICT に慣れていくことも必要だと思っている。
- ・[南小] ネット環境が良くない。トラブルも多い。今後 ICT 活用推進した教育を求められてもこれでは対応できない。町が指定する業者も対応がよくないし、いちいち費用がかかる。以前、他町の学校に勤務していた時にはもっと迅速な対応があったが芽室は違う。町のセキュリティと連動しているのが要因であるのなら学校は分離してほしい。

■ 複式学級

- ・[上小中] 市街地のように支援員をつけてもらえるとありがたい。18 人以だと単式になるが、現在 16 人。
- ・[上小中] 2 学年を 1 人で教えるのは本当に大変(人数が多い)
- ・[上小中] 土幌では町で予算をつけて複式を解消している。
- ・[上小中] 支援員は教えることはできないため、大変さは変わらない→単式にする方策をとってほしい。

■ スクールバス

- ・[上小中] 2 路線を維持していただきたい。
- ・[南小] 昨年は二回大雪の際の脱輪事故があった。教育委員会と除雪を担当する課の連携をもっと強め迅速な判断のもと安全なバス運行を求める。天候状況によっては子どもたちを学校にとどめ無理に帰宅させないという判断も今後必要になるのではないか。
- ・[南小] 悪天候の際にはバスにもう一人大人が乗車するなどの安全対策も必要ではないか(脱輪事故を受けて)
- ・[西小] 農村部の子どもが多い学区である。
- ・[西小] 部活バスは、定期バスと同じような路線を回るようにしてほしい。
- ・[西小] コミバスの運行範囲が広くなり、時間がかかるようになった。児童が習い事に通うために利用しているが不便である。

(回答) ご意見としてうかがう。

■ 奨学金

- ・[芽小] 高3の子どもがいる。新しい奨学金の制度ができてありがたいが、町民の中でも知ってる人は少ないのでは。これからも制度を充実させてほしい(条件など緩和すると利用しやすくなるのでは)。私立大学だと入学金、授業料が高いので無金利でやってくれるとありがたい。→①委員会に報告

■ PTA 活動

- ・[芽小] PTA 活動について。スケートリンクをつくったり環境整備など、これから少子高齢化にもなり厳しくなるのでは。高齢者で元気な方→学校を支えてくれる活動をしてくれるようなコミュニティがあればいい。→①委員会に報告 →③意見として伺う

■ 放課後居場所

- ・[芽小] 小2のこどもがいるが、毎週水曜日ひばりわくわく広場を利用している。学校教育以外で携わってくれるのは本当にありがたい。いろいろな地域で広まってくれればいいと思う。町として支援していくともっと広がるのでは。
→①委員会に報告 →③意見として伺う
- ・[西小] 秋冬は早く暗くなるため、退所時間が16時30分である。スポーツ少年団や習い事までの時間を過ごしていたが、使いづらくなった。
(回答) ご意見としてうかがう。
- ・[西小] 上美生地域では放課後の子どもの居場所づくりについて市街地とは違った体制で行われていると聞く。
(回答) 子どもの育つ環境に格差が生じることがあってはならない。ただし、地域によってはその地域特有の事情もあるので、考慮しながら進めていく必要がある。

■ 給食

- ・[芽小] 広報を担当している。先生方にアンケートをしたら、敷地が広く、木が多くてエゾリスがいる自然に恵まれた管内でも珍しい環境であると回答があった。そして1番に挙がったのが「給食が美味しい」ということ。温かくおかずも1品多い!?これからも自慢できる美味しい給食を続けてほしい。→③意見として伺う

■ 交通安全対策

- ・[芽小] 東めむろからの歩道が危険なのでガードレールなど安全対策をとってほしい(昨年も要望あり)。→①委員会に報告
- ・[西小] 児童館前に信号・ガードレールを設置してほしい。道路が傾斜であり見通しが悪い。
- ・[西小] 過去に子どもセンター近くの横断歩道で事故があった。その場所には黄色い旗が立ててあるが、坂道の下側からはみえない。旗の位置を見直すとか、中腹に看板を立てるなど検討してもらいたい。

(回答) ご意見としてうかがう。

■ 施設環境・安全対策

- ・[芽小] 敷地内の樹木について、先日の強風で芽中との境の 2 本が倒れた。森林組合でもチェックしてもらっているが、今後植え替えなど課題となる。子どもたちの安全対策を講じてほしい。
→①委員会に報告
- ・[南小] リンク小屋を整備するにあたり、業者と教育委員会との連携が足りていないと感じた。不適切なストーブの排気口の位置や建物に窓が無いなど、連絡不行き届きが原因と思われる無駄なやり取りがあったと感じている。この事により余分な経費(税金)がかかるのでは困る。議会は事前のチェックは出来ないのか。
- ・[南小] 野菜ハウスが風で倒壊してしまった。教育長に何とか支援頼めないかと持ちかけたが断られたのが残念。子どもにかかる予算は優先してほしい。更にはもっと保護者とのコミュニケーションを図ってほしいと感じている。
- ・[芽中] 現在体育館の改修工事が行われているが、どういう工事をするのかということが親に伝わってきていない。ソーラーパネルや災害備蓄装荷が設置されるということを聞いたが、ここは水害想定地域になっているので疑問に感じた。→①委員会に報告
- ・[芽中] 教室の扇風機をつけてもらった(前方の黒板の上に 1 つ)が、あまり効果がないと子どもからは聞いている。→裏に柱があるのがそこしかなかった。学校単位で対応するのではなく、町としてしっかりと対応してほしい。→①委員会に報告
- ・[芽中] 1 クラス 35 名以上いるが、教室が非常に狭く、夏も 30 度を超えることも増えてきたので、クーラーとまではいかないが

対策をとる時代に入ってきているのではないかと感じる。参観日も教室に入るのを躊躇してしまうくらい暑い。子どもたちが熱中症で倒れてしまってからでは遅い。→①委員会に報告

- ・[芽中] 特別支援学級の生徒が増えるということで昨年意見を出していたが、昨年度末までに教室の仕切りを入れてもらい現時点では何とか対応できている。これからさらに生徒が増えることが想定されているため、教室が足りなくなる。2年後に車椅子の生徒が入学してくるがエレベーターが設置されるということ聞いている。優先順位を考えながら対応してほしいと思っている。いま 450 名の生徒がいるが、この後の増減を見込みながらトータルで考えて校舎の増築を検討してほしい。→①委員会に報告
- ・[西小] 冬期間、児童玄関前の坂が凍結し危険である。除雪体制が整わない時期の降雪の際は町の対応も遅れ気味のため、子どもたちの安全対策を更に充実させてほしい。

(回答) ご意見としてうかがう。

- ・[西小] グランドの水はけが悪い。今年の運動会は火曜日まで順延した。暗渠はあるようだが、あまり効果が無い。

(回答) 以前に暗渠を整備した経過がある。ご意見としてうかがう。

- ・[西小] 5月に行われる環境整備時の2階の窓拭き(外側からの)は危険である。業者に依頼してほしい。

(回答) ご意見としてうかがう。

- ・[西小] 校舎内で雨漏りがある。

(回答) ご意見としてうかがう。

- ・[西小] 災害時は西小学校は避難場所になると思うが、ピウカ川が近く浸水することはないのか。

(回答) 所在地は浸水しない高さにある。

■ 学習環境・学校配置計画

- ・[西中] 現在の生徒数は、西中180名、芽中460人である。5年後の西中生徒数は150人以下になる。学習環境や部活動に悪い方向で影響がでるが対策はなにか考えているか。
- ・[西中] 生徒数が減少すると、学級数や教員数、部活動にも影響が及び、現状の特色ある教育を維持できない。
- ・[西中] 小学校ではスポーツ少年団などで活動している子が西中では部活ないので、引っ越すなど事例がある。

- ・[西中] 北海道の中体連の規約では、各学校の教員が引率して練習していることが、大会参加の前提条件となっている。西中にはバスケ部がないので合同チームはつくれないが、野球などの団体競技は部活があるので、合同チームをつくって参加している。
- ・[西中] 学校の合併統廃合であるが、帯広は20年先を見据えた計画がある。芽室町でも10年後の配置計画をしっかりと立ててほしい。

→(回答) 少子化対策は地域コミュニティの問題とも密接にかかわっており、大変重要な問題だと認識している。現在、第5期総合計画に向けて検証を行っており、今後の議論の中で検討することを約束する。また「芽室町立小中学校配置計画」については、平成29年度までの計画期間であるので、その後の計画について調査していく。

- ・[西小] 芽室小学校と芽室西小学校の児童数に格差がある。今後、児童数も減少し続け不安である。通学区域の再編は出来ないものか。児童数減少に伴い先生が減少すれば部活数も減少し、子供たちの選択肢が減ってしまう。
- ・[西小] 西中と芽中の生徒数格差は今後も解消されることはないと思う。今のままだと西地区の子どもたちは小学校からずっと同じ顔ぶれのまま中学卒業を迎えることになり「切磋琢磨」の経験不足とならないか心配だ。部活動も成り立たない。小学校区はこのままでよいが、市街地中学校は統合でも良いと思う。(西中での意見交換にも参加された方より)
- ・[西小] 児童数が減少傾向にある。クラス編成、学校行事等にも影響が出てくる。通学区域を見直してはいかがか。
- ・[西小] 特定の地域だけに選択制を認めている。
- ・[西小] どうしても西小に入りたいという親の気持ちから、西小区域に住宅を構えた。

(回答) 平成30年度は「芽室町小中学校配置計画」が策定される。厚生文教常任委員会として調査をする。発言内容はご意見としてうかがう。

- ・[西小] 冬のスキー学習を充実してほしい(回数が少ない)。芽室町にはスキー場があるのだから、スケートばかりではなく両方体験できた方がよい。また、スキー学習には保護者の手伝いが欠かせないが、西小は手伝える保護者が少ないため、スキースクールにも指導を依頼している。しかし、このことが他の小学校の保護

者からは不公平だという声も聞こえてくる（手伝った保護者の費用弁償が少ないなど）。今後は不公平感が無いような対策がある
とよいのではないか。

（回答）ご意見としてうかがう。

- ・[西小] 冬のスキー学習を充実してほしい（回数が少ない）。芽室町にはスキー場があるのだから。
- ・[西小] これからのスケジュールが知りたい。AET増員などが必要になるのではないか。また、教科が増えて子どもたちの負担増につながらないか、心配である。

（回答）ご意見としてうかがう。

- ・[西小] 道外出身者が増えて来たこともあり、スケートができる先生が少ない。例えば、芽室町には白樺高校がある。このスケート部の生徒たちに小学生の指導を依頼するなど、高校と連携してみてはどうか。

（回答）ご意見としてうかがう。

(5) 生涯学習の推進

（ご意見無し）

(6) 安心して産み育てることができる子育て支援

■ 子育て支援(全般)

- ・[上小中] 子供の医療費の無料化についての進捗状況は？（梅津議員現状説明）
- ・[上小中] 各市町村で違いがある。以前住んでいた自治体の病院では子どもが多く受診していた。医療費がかかれば安心して受診できるということも関係しているのではないかと思う。
- ・[上小中] より子供がいる家族が住みやすい環境を整備して（例）三人目出産の際に祝い金など。
- ・[南小] 今の国の政策は高齢者よりだと感じる。これからの社会を担う子ども達に予算を費やすべき。厚生文教常任委員会の抽出事項の順番も子どもに係る政策が高齢者の後に来ているが本来なら一番先に持ってくるべきではないか。
- ・[南小] 芽室町の子ども達の貧困の実態や、それを要因とする学力格差などの調査・把握は出来ているのか？解決に向けて取り組みを進めてほしい。
- ・[南小] 子育て世代が暮らしやすい町にしてほしい、上士幌町の

ように手厚い子育て支援による人口増を目指してはどうか。医療費の無料化も自治体間で格差がある。

- ・[南小] 子ども達が将来戻ってきたい町、沢山子どもを産みたいと思える町、地域ぐるみで子育てができる町をつくってほしい。
- ・[南小] 家庭の経済状況に影響されないよう教育機会の平等が叶うような政策を進めてほしい。
- ・[芽中] そもそも子どもの貧困というのは何をもって貧困とするのか。どういう把握をした上でこういうことが出てきたのか知りたい。→②その場で回答

→子どもの居場所事業なども含めて回答

- ・[芽中] 小・中まではせめて医療費を無料にしてほしい。所得制限が設けられているが、子どもたちが安心して医療にかかる環境は大切だと思う。そのことが子どもの自由な教育や生涯学習にもつながっていくと思う。いろいろな意味で税金の使い方を考えてほしいと思う。→②その場で回答

- ・[西小] 上士幌町は、医療費、給食費、地元の高校の授業料等の子育て支援が手厚い。芽室町は不足しているのではないかな。

(回答) その部分だけみればそう思うかもしれないが、子育て支援全体を見ると手厚いとおもう。しかしながら検討課題として捉える。

- ・[西小] 芽室町は子どもの貧困率が高いのか？

(回答) 北海道の調査等で明らかになってくると思うとの子育て支援課の答弁があった。所管委員会として引き続き調査を進める。

■ 発達支援体制

- ・[上小中] 学校教育には町として力を入れて欲しいし現在の芽室町の発達支援の体制は充実していると思うので今後も継続して行って欲しい。
- ・[上小中] 発達支援センターは受け皿がいっぱいなのでしょうか。直接言われているわけではないが、いっぱいだからということで、つながりたいけどつながれていない親がいる。
→確認してもらいたい。
- ・[上小中] 農繁期で忙しい時期は親は発達支援センターまで送迎できない時もある。以前はすきっぷを利用していたが、行けなくなってしまった。

→確認してもらいたい。

2 その他

■ 住環境

- ・[上小中] 上美生地区に住む農業者以外の住民の住宅確保が必要。上美生に住み農場勤務を希望するというような人材の確保をしたい。賃貸の住宅があれば良い。
- ・[西中] 23年間芽室に生活しているが、自然、学校、スキー場、病院、じゃがバスなどがあり住みやすい町だと感じている。今後も他所から来てもらえるような町をめざしてほしい。
→（回答）ご意見として参考にさせていただきます。

■ 生活環境(ごみ対策)

- ・[上小中] 上美生は燃やせるごみの収集が週に1度しかない。
- ・[上小中] 2回に増やしてほしい。
- ・[南小] 農地への不法投棄が目立つ。道路パトロールの際に不法投棄を発見したら連絡するなど担当課と連携出来ないのか。

■ 社会教育施設

- ・[芽小] 測量の仕事をしているが、先日ドローンの講習会を「かっこう」で開催して非常に評判が良かった。（音更のエコロジーパークもドローンの規制がかかって飛ばせるところが少なくなった）→③意見として伺う
- ・[芽中] スポーツしやすい環境づくりについて。去年の台風災害で河川敷の野球場やサッカー場が流れてしまって中体連の試合などもできなくなって不便になった。町営の野球場の整備などどういう計画になっているのか。何とか早急に改善改修してもらえるとうありがたい。→①委員会に報告

■ 地域コミュニティ

- ・[西中] 防犯協会で南が丘や東芽室をパトロールしているが、夕方6時ころ電気のついてない家が目立つ。町内会に加入していない方も増えている。子育ての視点からも地域コミュニティの存在は大きいので、町としても対策が必要ではないのか。
→（回答）行政にお任せではなく、地域と学校が連携し、子ど

もを見守る体制をつくっていかなくてはならないと考えている。頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。

■ 議会運営

■ 意見交換会

- ・[上小中] 事前に資料配布されたので良かった。
- ・[上小中] 課題に対する意見を集めた後の進捗状況を示してもらうとありがたい。
- ・[上小中] 意見交換会を利用して議会の取り組みなど（議会改革のこと）をアピールしてはどうかと思う。
- ・[西小] ぜひ来年度も意見交換会を実施してほしい。

（回答）ご意見としてうかがう。

■ 議会だより

- ・[西小] 「議会だより」は内容が難しい。またすべてを伝えようとしているので、しっかり読まなくてはならない。もう少しポイントを絞った誌面づくりをしてはいかがか。

（回答）ご意見としてうかがう。

■団体との意見交換会

7 芽室町市街地町内会連合会役員と総務経済常任委員会委員との意見交換会

日 時：	平成 29 年 6 月 17 日（土）14:00～15:00
場 所：	町民活動支援センター会議室
出席者数：	6 人
テ ー マ：	災害告知用戸別端末について

【役員の皆さんからの質問と意見交換内容】

Q：整備される端末は双方向でのやり取りは可能なのか

- ・行政からの一方通行である（回答）
- ・自宅で動けなくなったときなどは助けが呼べた方が良い

Q：それぞれのシステムにはどのような違いがあるのか

- ・60 メガヘルツと 280 メガヘルツ双方の特徴などについて視察の報告を交え説明をおこなう。150 メガヘルツとの関連についても質問があり、説明した。（回答済み）

Q：操作などへの不安、意見

- ・高齢者にも簡単に操作できるのか心配。簡単なものが良い
- ・電池切れなどの手入れが出来るかどうか心配

Q：情報発信のタイミングについて

- ・去年の災害時は情報を出すのが遅かった。端末が整備されてより早く情報発信できるのであれば良いことと考える。
- ・去年はほとんど聞こえなかった（西工町）。役場からの電話通知でようやくわかった。連絡が来てから、町内会の住民を救助に行こうとしたが、既に水が溢れていて向かう事ができなかった。8 月 30 日の対応は遅すぎた。

Q：費用はどの程度かかるのか

- ・インフラ整備にかかる費用、端末一台の価格、文字表示可能な端末の価格、国からの交付金制度などについて説明。

Q：耐用年数はどの程度か

- ・視察先は導入したばかりの為詳細は分からないが、一般的な電化製品の耐用年数などについて委員長が説明した
- ・導入するのであれば、すぐ壊れるようなものではなくグレードの高い物が良い

Q：災害以外の情報発信は行うのか

- ・視察先の状況を説明。本町については未定と説明。

【議会からの質問と役員皆さんからのご意見】

Q：本町 7,700 世帯全件に整備するのが望ましいと考えるかどうか
ご意見伺いたい。浸水地域のみで良いかどうか

- ・整備するのであれば基本全戸設置が望ましいと考える
- ・どの様な災害を想定しているのかによって考え方が違ってくる。
芽室で必要となるのは水害への備えではないか？

(町は災害後の情報提供の手段としても考えている事を説明)

Q：町内会として災害時における情報把握、地域住民への対応などで心配な事、要望などはあるか

- ・早い時期、早い時間での避難指示が必要
- ・たとえ端末を使った情報発信があったとしても、独居老人などの高齢者は一人では避難が出来ない。情報を出したあと、どう行動するかが重要。要支援者が安全に避難するための体制づくりを明確にしないで是不ならない。

8 社会福祉協議会と厚生文教常任委員会委員との意見交換会

日 時：	平成 29 年 8 月 24 日（木）18:00～19:30
場 所：	芽室町中央公民館 図書資料室
出席者数：	9 人
テ ー マ：	芽室町社会福祉協議会の現状と課題について

（１）制度改正によるガバナンス強化による影響

Q：住民にとっては、障害者・介護サービスを必要とする方がどうなるか心配である。第 7 期に向けて社会保障審議会介護部会では、更なる報酬引き下を引き下げインセンティブ予算を組み込みながら改定の準備を進めている。2015 年からの第 6 期において介護報酬 4 % 引き下げになったが社会福祉協議会が実施してきた影響は。

A：平成 27 年度の法改正での全事業を試算するとおよそ 900 万円の減収となる。事業の縮小は避けたいが、利用者の負担が増えることになる。（無料だったものが有料へ）

A：現在、62 名（うち正職 12 名、19.4 %）の職員がいるが、職員の減少が進めば事業を縮小を考えなければならない。

Q：法改正の中で「地域における公益的な取り組みを実施する責務」とあるが、まだ事業を増やすのか。

A：現実的には無理である。今の事業を維持するだけでも困難である。現在行っている事業をいかに継続するかが大切。

（２）人材確保・育成

Q：介護人材不足が懸念されるが今後、社会福祉協議会として人材確保・育成をどのようにお考えか。

A：社会福祉協議会の課題でもあり芽室町の課題でもある。社会福祉協議会・けいせい苑・りらくでの三者合同会議も開催しているが共通した課題である。

Q：処遇改善等は行政支援がなければ出来ない。どんなかたちが良いのか？現場の考えは。

A：福祉に携わる技術職が全体的に不足している。決して待遇面だけではないと考えている。パートを地元で募集しても応募が少ない。子育て世代も働きたい方もいるが、子どもにあわせた生活環

境であり勤務時間にそぐわない。雇用する側が働き手の雇用条件を加味した環境を作らなければならない。

A：今まで若い人を中心に求人してきたが昨今は元気老人が増え、働きたいという方が増加している。地域人材資源の有効活用も考えて行かなくてはならない。

（３）財源の確保

Q：町内会加入人口が減少しているが、会費（社福協財源）に影響はあるか。

A：社会福祉協議会の設立は、昭和２６年１０月。当時から会費３００円であり、全戸加入だった。徴収方法については町内会会長さんにおねがいしている。額も町内会の報告を受けて請求している。値上げについて検討もしたが、町内会の未加入増に繋がる恐れもあることから断念した。

A：管内１８市町村の平均年会費は５００円。最も高いところで１０００円である。

A：社会福祉協議会の基本財源は、会費、寄付金、赤い羽根募金の配分金。賛助会員制度もあるが、企業１社もない。

（４）ボランティア事業

Q：「ふまねっと」が町内に広がりつつ、多くの住民が関心をもっている。今後、町内全体的に広げるような展望は。

A：社会福祉協議会もそう願っている。そのためには、サポーター（現２０人）を増やしていかなければならない。そのため年に１回サポーター養成講座を開催し、予算計上もしている。

（５）ふれあいサロン事業

Q：説明の中で「みらい」での食堂構想のお話があったが、具体的にいつからを考えているのか。

A：現在、「ふれあい居場所ゾーン運営委員会」がある。現在は、東地区に「あいりす」も運営され２つの運営委員会があるが、１度も合同の運営委員会が開催されていない。早急に運営方針を協議し決定しなければならないと考える。

9 商工会青年部と総務経済常任委員会との意見交換

日 時：	平成 29 年 10 月 18 日（水）19:00～20:00
場 所：	芽室町商工会会議室
出席者数：	7 人
テ ー マ：	地域資源を活用した観光の振興 農村地域公共交通手段 商工業に関すること

（１）地域資源を活用した観光の振興

- ・芽室町には特徴ある観光資源は無いと考えるが、そこにあえて投資する必要性を感じない。
- ・観光振興によって交流人口を増やす事は商業地域の活性化にもつながる。
- ・交流人口が増えなくても町が衰退しないのであればそれでもよいのではないかな。
- ・無駄な経費をかけるくらいなら事業を止めればよい。
- ・やるならもっとやれば良い。中途半端が良くない。
- ・新しい施設整備をする余地はあるのだろうか。
- ・例えば乗馬体験とかエコロジーパークの様なものを検討できるのだろうか。
- ・町民の娯楽施設という説明もあったが、町内利用者と町外利用者の割合はどうなのかも調査すべきでは。
- ・町民の娯楽施設であるならば、宿泊機能は要らないのではないかな。
- ・サイクルツーリズムに取り組む意図がよく分からない。外から来る観光客を対象にするか、町民を対象にするのかでは手法が違うのではないかな。
- ・嵐山の今後ということであれば、まずはライバルを決めてはどうか。自分は千年の森を目標にして観光振興に取り組めば良いと思う。
- ・新嵐山スカイパークは施設が中途半端だと思う。

（２）農村地域公共交通手段

- ・バスを運行させるよりもタクシーを活用した方がよいのではないかな。

（３）中心市街地の空洞化について

- ・もう手遅れになるのではないかなという危機感を持っている。

- ・自分は起業して12年たつが後進が育っていない。何か対策をしないと若い人たちが起業しようという気にならない
- ・空き店舗を借りようと思っても、店舗兼住居になっているため店舗だけを借りることが難しい。
- ・自分が同じ立場に置かれたとしたら気持ちは分かる。
- ・持ち主の考えによるので仕方ないのかもしれないが。
- ・中心市街地を別の場所に移転するしかないのではないかな。
- ・本当は、新庁舎の建設にあわせて中心市街地のあり方についても考えられれば良かったが現在地に建てることになってしまったのでもうそれもかなわない。

(4) 商工業の振興策・中心市街地のにぎわい創出

- ・芽室に住宅を建てる場合の補助金を利用する際の規制は厳しい。50%以上町内業者を利用しなければならないというのは町外から芽室に移転し起業している業者にとってはかなりハードルが高い。制度が実態に合っていないので見直してほしい
- ・頑張る小規模事業主に対する支援策を講じてほしい。
- ・経営を存続できるような意欲向上の為の支援が必要
- ・商工会青年部としても夏フェスなどのイベントをやっているがイベントの時にしか人が動いていない。一過性ではなく持続性のある物をやりたいと思う。今取り組んでいるイベントは一過性のものだと認識しながら取り組んでいる側面もあるが、子どもたちが喜んでくれるので今後も継続していきたい。
- ・去年の台風10号による被災では農業者には農地の復旧など支援があったが商工業者に対する支援をどのように行う計画なのかを示してほしい。災害直後は土砂の搬出などほぼ自己負担でやっていた。今後は災害時における個人事業主への支援策のガイドラインなどを示してほしい。

10 3団体と総務経済常任委員会との意見交換

日 時：	平成 29 年 11 月 14 日（水）19:00～20:00
場 所：	芽室町中央公民館 2 階講堂
出席者数：	15 人（新あらし山友の会：5 人、めむろ農家民泊研究会：5 人、MEMURO ワインヴァレー研究会：5 人）
テ ー マ：	地域資源を活用した観光の振興

（１）新嵐山スカイパーク今後の活用について

- ・芽室町の財産。もっと活性化してほしい。
- ・第 3 セクター方式(現在のやり方)では難しい。
- ・アイデアや夢が加味されて観光が活性化していくことを望んでいる。
- ・観光としての目的をはっきりさせていく。建物を立て直すとかなりの費用負担になる。
- ・形態はいろいろあるがみんなで議論するべきだと思う。
- ・夏と冬の観光資源を今一度考え直してみてはどうか。
- ・いまの嵐山からは働いている人の意気込みが見えない。サービス業の心得がないのでは。呼び込むパワーを感じない。スキーも含めた雪遊びなど冬の遊び場としての取組みをしてはどうかと思う。
- ・インターネットでみたが、宿泊した人の評価が低い。部屋が狭いし温泉でもない。町長が社長では経営はよくならない。民間活力を入れないとよくならない。友の会がイベントをやっても限界がある。
- ・企業であれば利益を出す、出すためには人材を確保することが必要。経営は民間がやらないとよくならない。町長が社長でいる限りは大過なく過ごそうとなるのだから難しい。
- ・すべてを民間にするのは難しいが民間主導で進めていくべきではないか。
- ・経営感覚の面で言えば、例えばお風呂の洗面台のお湯はボタンを押したらお湯が出っ放し。普通は一定量が出たら止まるように設定している。また暖房代についても満室でもそうでなくてもどちらでも費用は変わらないのでは。
- ・経費を意識したつくりになっていないのが現状ではないか。
- ・4 年前からシンガポールからの観光客を年間 80 人ほど受け入れている。行政も議員も知らない。
- ・観光客は「非日常」を求めている。やり方はいくらでもあり、本

- 物を知ってもらい、付加価値をつける。
- 施設や建物にこだわりすぎると本質を見失う。
- 天空カフェも非日常をつくることではよかった。本当にいいものであれば値段が高いからやめるとはならない。農業を核とした観光を考えてはどうか。
- 建物を立て直すより、グランピングを活用してキャンプ場も再整備してはどうか。(キャンプ場の避難場所として今の建物はバックヤードになる)
- 関西地方の高校生修学旅行受け入れでは必ず嵐山展望台に連れていく。頂上からの眺めに子どもたちが感動する。低い山だが日の出、日の入り、雲海など多様な魅力があるのは貴重な資源だと思う。



- 頂上までの林道が狭く、女性の中には運転が難しいという声もある。上り下りを同じ道にせず、一方通行に出来ると良いのではないか。牧場の管理道路の活用は不可能か。
- 道路やトイレの整備などをすればもっと嵐山を訪れる人が増えるのは分かるが費用が膨大になる。一番やりたいことが一番実施困難であることが悩ましい。
- 頂上に以前は鳥瞰図があったが今はない。町外からやってくる人の為には山の名前などを示すガイド板があると良い。
- 頂上にライブカメラを設置し、インターネットでいつでも様子が見られるようにすると芽室町のよいPRになると思う。

- ・修学旅行の高校生を受け入れるようになってから展望台へ足を運ぶようになったがそれまでは冬期間のスキー場利用しかしていなかった。嵐山には子どもたちを連れて行っても夏場遊べる場所が無い。PGは大人だけの娯楽。
- ・他自治体（更別、本別、音更）の公園は子ども連れにとって楽しい施設があるためどうしてもそちらに行く。
- ・現在は町が100%出資だが、これが仮に将来民間と半々の出資形態になると逆に動きにくくなる可能性もあり（企業経営者の立場からみて）、中途半端な経営主体のあり方にしてしまっては良くないと思う
- ・幕別忠類の道の駅は民間に経営移管してからは業績が伸びているときく。
- ・何か参考になるヒントはないか。
- ・現状の老朽化した施設を仮に民間に譲渡するとしてそのまま引き受けてくれる企業があるかどうかは疑問であるし、運営主体についての是非は分からない。町民にとっては大切な施設だが町や議会はどの様に判断するのだろうと思う。
- ・宿泊施設の整備だけではなくフィールド全体の整備を行わなくては駄目だと思う
- ・大浴場が古い、洋室が少ない、バリアフリー対応ではないなど宿泊部門の業績を上げるにはやはり改修が必要である。
- ・都会の人にとっては憧れの自然環境だし、自分自身も失いたくない場所だと考えている。
- ・以前、スカイパークに生息する小動物や植物全てを記載したガイド本を発行した方がいたが、それを再び活用させてもらうなど、これまで知られていなかった嵐山の魅力を発信することも重要。野草の群生地などがあり知る人ぞ知る名所である。
- ・かつてはスポーツ施設や小動物、アスレチックなどがあり町民の憩いの場であった。現在それらはもう無くなってしまったが素晴らしい自然環境、景観、豊かな食など、誰もが認める観光資源がここには沢山あるのに再整備できないのはなぜだろう。一体だれがやるのか？
- ・宿泊施設は必要と考えるが、浴場や宿泊室の改修費用もそれなりに必要。北海道ガーデン街道・サイクルツーリズム、近いところでは松久園等十勝を面で考えその1つに嵐山スカイパークかあるような考えも大事。
- ・新嵐山スカイパーク周辺には子供達が遊べる場所がなくなったので家族連れで訪れる場所ではなくなっている。

- ・新嵐山スカイパーク周辺の資源は今活用しなければ遅い。民間企業などの構想を利用することが大事。
- ・忠類は民間に経営を移管して来館者が増えたと聞く。
- ・民間との連携が必要と考える。自治体か運営していて上手く運営している自治体はあるのか？
- ・目先の数字に拘りすぎる(経費の掛け方・投資の考え方)
- ・めむろ新嵐山株式会社は本当に民間と言えるのか？
- ・単独での経営には無理があると思われる。周辺に人を呼び込む仕掛けが大事。
- ・例えば施設の魅力を増やす手段として浴場は温泉にして欲しい。
- ・自噴が不可能なら町内から運び入れるなど発想に工夫が欲しい。
- ・民泊の受け入れ経験から小さな学校の修学旅行の受け入れは可能だと思う



(2) 天空カフェの検証から

- ・バス送迎の来客からはリフトで頂上に上がりたいという声をよく聞いた。
- ・有料でも良いから夏場もリフトを運行してはどうか。
- ・それだけの対価を払う価値があるということだ。
- ・3カ年の計画を終え、町は何か成果を得たのかどうか疑問だが、カフェを訪れた客が町内の他の飲食店にまで足を運ぶなどの波及効果はあったことは事実である。

(3) 新嵐山以外の観光振興について

- 例えば、コカコーラではご当地自販機のように要望があれば芽室の景観をプリントした自販機設置も可能であると担当者が言っている。
- 今は、嵐山展望台からの景観を缶コーヒーのラベルにした商品も販売されている。こうした民間企業の力を借りながら芽室の魅力を発信することも可能である。自販機を設置すれば企業からも売り上げの一部を還元する仕組みもある。
- 芽室公園や愛菜屋、スキー場など利用客が多い場所に設置できるようしても良いのではないかな。
- 修学旅行受け入れ高校生が車内で【横にも空がある！】といったのが印象に残る。空間の広さ、夜空の暗さ、星などは都会では味わえない。
- 何と言っても【食】である。
- 現在ワインヴァレー研究会では【食】をキーワードに様々な事業展開を検討中である。将来この豊かな芽室ならではの食を目当てに、これまで十勝を通過していた観光客が滞在してくれる仕組みを作りたいと考えている。
- 民間の活力と上手く連携しながら芽室の観光振興につなげていくなど民間の得意分野は民間に任せる仕組みづくりが必要。
- 食べ物や景観、芽室の素材・資源は良い。それを上手く活用できて無い。



11 農業委員会と総務経済常任委員会との意見交換

日 時：	平成 29 年 12 月 27 日（木）13:30～15:00
場 所：	芽室町役場 3 階第一委員会室
出席者数：	6 人
テ ー マ：	今年度の総務経済常任委員会の抽出事業について 農業委員会活動と改選後の取組みについて

（１）公共交通について

- ・実際にチケットを配ってもなかなか使わない状況もあるのではないだろうか。
- ・足の確保が必要なのは間違いない。
- ・セブンイレブンのように、購入したものを配達してくれるシステムがあるが、その延長で人を運ぶことはできないのだろうか。
- ・利用しやすいシステムを作ってほしい。

（２）観光振興について

- ・リフトが老朽化している。リフトなどもメンテナンスが必要ではないか。
- ・安定的に収益を得るためにはどこかに投資していかないといけない。
- ・従業員の高齢化が進んでいる。技術の継承が課題になる。

（３）農業委員会の業務について

- ・遊休農地は現在町内にはない。
- ・新規就農者が他の自治体に比べると入れない状況になっている。
- ・まだ規模拡大傾向に長期的に見ると新規の対策も必要になるのでは。
- ・賃貸農地が多くなっており、土地改良事業や基盤整備事業について、土地所有者が承諾しないと事業が進まないという課題がある。
- ・賃貸物件でも土地改良できるようなことも今後検討していかなければ優良農地が確保できないのではないかと考える。
- ・税制対策としての法人化が多いが、後々、課題となる部分も出てくるのではないか。

(4) その他

- ・臨時職員には5年の期限が設定されている。
- ・優秀な人材の確保に向けた事務局職員の待遇も課題である。
- ・役場庁舎建設に関して、農業委員会としても意見をあげていってはどうか。



12 芽室町長芋生産組合と総務経済常任委員会との意見交換

日 時：	平成 30 年 2 月 20 日（火） 15:00～15:33
場 所：	芽室町農協 会議室 2
出席者数：	15 人
テ ー マ：	農業残渣物（長芋つるネット等）の現状と課題について ～現在の長芋つるネットの処理方法 ～長芋つるネットの保管場所

（１）現状について

※お一人ずつ、耕地面積と保管場所、処理方法について話していた
だく。

- ・ 1 人平均約 2ha の耕地面積がある
- ・ 茎葉付きネットを秋、春に巻き取りロールにし、自分の畑の隅や
土場に保管する。1 年後に業者あるいは自身で振るいネットと茎
葉を分ける作業を行う。さらに翌年、完全に分離してからネット
は廃プラとして処理している。
- ・ 川西ブランドの長芋のうち、55%は芽室産となっており、生産高
からも非常に大きい。栽培農家にとっても収入割合から見ると大
変重要な位置づけになっている。

（２）課題について

- ①ロールの保管場所（1～2 年で処理していかないと場所が不足）
- ②茎葉付きロールの運搬
- ③自己で振るう場合の機械への負担
- ④業者に頼んだ時の料金水準（時間と作業量を調整しながらおこな
っている）
- ⑤成分分解ネットは、切れる・弱い・コスト高などの課題が多い。



（総務経済常任委員会 所管事項報告）

総務経済常任委員会では「地域資源を活かした観光振興」「農村地域における公共交通手段」を政策形成サイクル抽出事業としました。

調査にあたっては、各団体や、町内小中学校 PTA との意見交換会、議会モニター会議など、町民から頂いた多くの意見を参考にしました。

委員会調査の他に、ミーティングでの意見交換、平成 30 年 2 月 7 日町長に手交した検証結果を報告した第 4 期総合計画評価への取り組み過程など多くの場で議員間討議を重ね、論点・争点のブラッシュアップを行いました。

また、事務事業調査の一環として各団体との意見交換会を開催し、頂いたご意見は今年度における委員会調査の参考とし、委員会活動に取り組んでまいりました。

平成 29 年度政策形成サイクル抽出事業への取り組みにおける総括と次年度以降の方針並びに事務事業調査に係る今年度の取り組みと、次年度以降の方針について、それぞれ以下の通り報告いたします。

■政策形成サイクル抽出事業への取り組みについて

1 地域資源を活かした観光振興

＜調査経過＞

平成 29 年 5 月 29 日	第 3 回総務経済常任委員会
平成 29 年 6 月 15 日	第 7 回総務経済常任委員会
平成 29 年 7 月 21 日	第 1 回議会モニター会議
平成 29 年 8 月 28 日	第 14 回総務経済常任委員会
平成 29 年 10 月 18 日	芽室町商工会青年部との意見交換会
平成 29 年 11 月 11 日～22 日	町内 6 PTA との意見交換会
平成 29 年 11 月 14 日	三団体との意見交換会 (新あらしやま友の会、めむろ農家民泊研究会、MERURO ワインヴァレー研究会)
平成 29 年 12 月 15 日	第 26 回総務経済常任委員会
平成 29 年 12 月 27 日	芽室町農業委員会との意見交換会
平成 30 年 1 月 15 日	議会モニター経験者との意見交換会
平成 30 年 1 月 23 日	第 29 回総務経済常任委員会
平成 30 年 1 月 23 日	第 2 回議会モニター会議
平成 30 年 1 月 31 日	第 30 回総務経済常任委員会
平成 30 年 3 月 29 日	第 35 回総務経済常任委員会

町民との意見交換会では、本町における【観光】の要として、新嵐山スカイパーク周辺の利活用に関するご意見が多く寄せられました。新嵐山荘の経営主体や設備改修、展望台の環境整備や活用手法、スキー場の設備更新、H28 年台風 10 号により被災したキャンプ場の早期の復旧、夏季も子どもたちが楽しめる環境づくりへの要望、豊かな芽室の食資源を活かした新嵐山を拠点とした観光振興策への提案など、新嵐山スカイパーク一帯のフィールドは多くの町民にとって、親しみがあり、可能性に満ちた重要な観光資源であることが委員会内で共通認識を持つことができました。

一方、委員間討議においては、本町における観光とはどうあるべきなのか、どのような展開にしていくのかを示すビジョンが存在せず、現在町が取り組んでいる様々な事業を効果的に展開していくには、観光振興における計画が必要であることや、老朽化した新嵐山スカイパーク施設改修にかかる費用など、今後の課題も明らかになりました。

現在、町は行政改革、観光振興の両面から新嵐山スカイパークのあり方について検討を重ねています。また、2 年目を迎えるサイクルツーリズム事業や、平成 30 年度からは地域おこし協力隊の雇用による観光振興策などは、今後も経過を注視する必要があると、総務経済常任委員会では次年度以降も「地域資源を活かした観光振興」について調査を継続していくことを確認しました。

2 農村地域公共交通手段

<調査経過>

平成 29 年 7 月 21 日 第 1 回議会モニター会議

平成 29 年 10 月 14 日 芽室町商工会青年部との意見交換会

平成 29 年 11 月 11 日～22 日 町内 6 PTA との意見交換会

平成 29 年 11 月 27 日 23 回総務経済常任委員会

平成 29 年 12 月 27 日 芽室町農業委員会との意見交換会

平成 30 年 1 月 15 日 議会モニター経験者との意見交換会

平成 30 年 1 月 23 日 第 2 回議会モニター会議

平成 29 年 11 月 27 日に開催した第 23 回総務経済常任委員会において、担当課から農村地域における【自力移動困難な高齢者】の移動手段対策として、今後はタクシー運賃助成の方向で取り組むとの説明がありました。

各委員からは「運転免許証を返納した高齢者のほかにも、学生や冬期間の運転が困難な町民に対しての支援や対策はどう考えるのか」などの質疑がありました。

その後の議員間討議では、町が示す方策だけでは農村地域における公共交通手段が確立されたと考えるには十分ではなく、課題が残されていることを確認しました。

町民との意見交換会においても、「現在は家族の協力のもと高齢者の移動手段は確保できているが、将来への不安がある」「タクシー運賃助成以外にも何か手法があるのではないかな」などの意見があり、課題解決にむけては今後も調査が必要であることから、総務経済常任委員会では、次年度以降も「農村地域公共交通手段」について調査を継続します。

■団体との意見交換会について

1 「防災戸別端末整備について」

団体名：芽室町町内会連合会 日時：平成 29 年 6 月 17 日

参加者からは、平成 28 年台風 10 号発災時の様子を振り返り「台風 10 号発災当時の町の対応は遅かった。本町においては水害を想定した迅速な情報発信体制が必要である」「情報発信の仕組みだけではなく、自力での避難が困難な高齢者や障がい者への支援体制を築かなければならない」など、地域での活動実践に基づく貴重なご意見をいただきました。

総務経済常任委員会での調査における質疑・答弁の結果「財政面での見直し」「戸別端末は避難情報発信手段の一環であり、その他の情報発信ツールの活用も充実させるという方向性」「避難情報発令の基準見直し」「町独自のタイムライン（事前準備行動計画）策定」など、台風 10 号被害への検証結果を反映した町の新たな取り組みも示され、委員会として戸別端末整備に対し一定の理解を持つことができました。

一方「新しい仕組みを導入せずとも現存の情報発信ツールの更なる利活用と、地域で支え合う仕組みづくりを強化することをまず実践すべきではないか」「自然災害だけではなく J アラートへの対応も必要であり、昼間人口が多い東工業団地企業への端末整備も必要ではないか」など今後も検討すべき課題があることから、継続した調査が必要であることを委員会で確認しました。

2 「委員会抽出事業・商工業振興について」

団体名：「芽室町商工会青年部」 日時：平成 29 年 10 月 18 日

参加者からは「中心市街地の空洞化対策」「商工業振興策」「中心市街地のにぎわい創出」について多数ご意見を頂きました。また「小規模事業主の経営を

存続させるための支援策」や「被災した企業への支援策を分かりやすく提示してほしい」など、町に対する要望もいただきました。

総務経済常任委員会ではいただいたご意見をもとに、今後もまちの課題解決に向けた取り組みを継続していくことを確認しました。(抽出事業については別途報告済み)

3 「農業委員会活動について」

団体名：「芽室町農業委員会」 日時：平成 29 年 12 月 27 日

改選後初めてとなる農業委員会との意見交換会でした。「新規就農者の現状」「新規事業の必要性」「土地改良事業や基盤整備事業」など、農業委員会の取り組みに関して意見交換を行いました。

今後も、本町の基幹産業である農業振興について、総務経済常任委員会では課題意識を持ち継続した調査活動に取り組みます。(抽出事業については別途報告済み)

4 「農業残さ物処理（長芋つるネットなど）の現状と課題について」

団体名：「芽室町長芋生産組合」 日時：平成 30 年 2 月 20 日

「芽室町地域新エネルギービジョン」に基づく「農業残さ物を原料とした混合ペレット工場建設」に係る調査の一環として意見交換会を開催しました。

参加者からは「長芋つるネットの処理方法・保管場所」に関する現状と課題についてのご意見をいただく中で、海外でも需要が高まっている長芋は、本町において重要な位置づけにある作物であり、今後も生産現場における課題解決に向けた取り組みの必要性を確認することができました。

「ペレット工場建設」については、委員会での調査や委員間討議、意見交換会など、数多くの話し合いを重ねた結果、「当初の事業目的との整合性」「建設位置についての課題」「原料調達についての課題」「コストに関する課題」「製品（ペレット）の流通・普及に関する課題」「事業の持続可能性への課題」など事業執行には、まだ解決すべき課題が多くあり、今後も調査の継続が必要であることを委員会で確認しました。

(厚生文教常任委員会 所管事項報告)

厚生文教常任委員会では、計画的、継続的に調査を進めていくため6つの施策を抽出し、2年間の委員会活動を実施しています。平成29年度は町民との意見交換会等で出された意見を反映させ、以下のように取り組んできました。平成30年度においても引き続き調査を進め、町民の声を反映した委員会活動を実施していきます。

1 公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展

○平成29年度の取り組み

公立芽室病院は、平成29年5月に「新・改革プラン」を策定しました。しかし入院・外来ともに患者数は伸び悩み、病床利用率は2年連続で70%を大きく下回る結果となりました。平成29年度も厳しい状況が予測され、プランの見直しを余儀なくされています。当委員会では、病院の経営状況を四半期ごとに調査を行い、病院経営の改善策について説明を受けました。委員間では、病院経営は深刻な状況にあるが、地域医療確保の観点から今後も維持していく方向で一致しています。

○課題および次年度にむけた方針

地域医療を確保するためには、多様な選択肢があります。医師や看護師を確保し診療体制を充実させることや病院経営が維持できるよう診療報酬を見直すよう国に要望を提出するべきなどの意見がある一方で、病院は地方公営企業であり独立採算制の原則から経営の健全化を求めるべきとの意見もあります。次年度においては地域医療の確保と健全経営をどのように両立させていくか、委員会として調査・議論を積み重ねていきます。

2 高齢者福祉の充実

○平成29年度の取り組み

第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定にむけ調査を実施しました。

○課題および次年度にむけた方針

介護職員の待遇改善と介護サービスの質と量の充実は課題であります。平成30年度から始まる福祉人材確保対策事業の状況を調査していきます。

3 スポーツしやすい環境づくり

○平成29年度の取り組み

当委員会は平成29年4月に「町民プール維持管理事業に対する提言書」を教育委員会に提出しました。今年度はその後の対応について調査を行い、温水プールの整備方針を確認しました。芽室公園野球場の改修工事は、次年度に大規模修繕を実施する方向であることを調査しました。

○課題および次年度にむけた方針

平成30年度に策定される温水プール基本構想では、提言にもとづき周辺の社会体育施設のあり方や施設の複合化など提言項目が反映されているかを調査します。野球場は大規模改修工事完了後に現地調査を実施します。

4 学校教育の充実

○平成29年度の取り組み

教員の多忙化、超勤解消については陳情の提出があり、当委員会に付託され陳情審査では参考人を招致し「採択すべきもの」としました。（本会議において全会一致で採択）奨学金制度、子どもの安全確保、部活動については各委員が質疑や一般質問を行っています。

○課題および次年度にむけた方針

少子化の影響と教育環境の今後のあり方、運動部活動の運営の適正化、教員の多忙化解消対策は、教育委員会の方針並びに今後の対応について調査します。コミュニティ・スクールは教育委員会、学校、地域が十分な共通認識に立って事業が進められていることが重要であり、引き続き調査を行っていきます。

5 生涯学習の推進

○平成29年度の取り組み

今年度は「生涯学習」というテーマではなく、学校教育、社会教育、子育てや高齢者支援などの個別施策として調査を進めました。

○課題および次年度にむけた方針

「第5期芽室町生涯学習推進中期計画」策定について調査を行ないます。

6 安心して生み育てることができる子育て支援

○平成29年度の取り組み

子どもの居場所づくり事業は、委員会として論点を整理し、これをもとに調査を実施しました。発達支援事業やその他の子育て支援事業についても調査を

行い、子どもや保護者への支援の質の充実を求めました。子どもの医療費助成については委員が一般質問を行っています。

○課題および次年度にむけた方針

子どもの貧困対策は事業として取り組みがはじまったばかりです。今後は対象者へ支援が届いているか、不足している支援はないか、支援の質の充実を求めています。障害児政策は地域支援に重点をおく事業のあり方や障がい児の相談事業への民間委託など障害児政策の転換期にあることから「第1期障がい児福祉計画」や平成30年度に策定される「芽室町発達支援計画」を調査します。

■高校生との意見交換会

1 芽室高校 新聞局・生徒会

日 時：	平成 29 年 12 月 6 日（水）16:00～18:15
場 所：	芽室高校 1 階会議室
出席者数：	19 人（生徒）
出席議員：	全議員



2 白樺学園高校 吹奏楽部・サッカー部

日 時：	平成 29 年 12 月 18 日（月）15:00～17:15
場 所：	白樺学園高校 会議室
出席者数：	20 人（生徒）
出席議員：	全議員





ワークショップテーマ:「みんなが読みたくなる『議会だより』」

1. 議会だよりを見てみよう

「議会広報編集発行要領」の目指す編集になっているだろうか？
次のポイントに着眼して考えてみよう。

- ①構成
- ②言葉（用語など）の使い方
- ③記事の内容
- ④写真や字体の用い方
- ⑤その他

2. 議会だよりを評価してみよう

- ①から⑤の「良いところ」「改善した方がよいところ」について
どんどん意見を出してみよう。

3. 「読みたくなる議会だより」にするためのアイデアを出してみよう

- ①から⑤について「良いところ」を、更に良いものをするためにどうしたらよいだろう？
「改善した方がよいところ」をどのように改善したらよいだろう？



「高校生との意見交換会」の意見集約

(1)「みんなが読みたくなる『議会だより』」

1 構成

【構成全般】

- ・ 高校生や中学生が担当するスペースがあるといい。
- ・ 季節のイベント（お祭りなど）お知らせコーナー。
- ・ 議会で決定したことがこの後自分たちにどう影響するのかなど、詳しい説明があると興味がわく。

2 言葉（用語）

- ・ 中学生でもわかるような分かりやすい言葉を使う。
- ・ 意味が解るよう解説があるとよい。

紙面構成に関する意見

→毎号の紙面構成で参考として活用していきます。

3 記事

【記事の内容】

- ・ 一緒に考えることができるテーマ設定。
- ・ 「一般質問を終えて」の欄はとても大切と思う。その後、どうなったのか知りたい。
- ・ エピソード、趣味など自分たちに近い議員をアピール。
- ・ 特集記事。
- ・ 課題に応じてアンケート調査。
- ・ 町民のインタビュー記事。
- ・ 他の市町村から来た人のためにも、町の良い所を紹介する記事。
- ・ イベント、お店の情報、まちが整備した施設。
- ・ 内容を簡潔に、うすくした方が見やすい。
- ・ 編集後記に似顔絵を用いて誰の言葉か解って良い。
- ・ 議員の顔写真を高校生が似顔絵にするなど、資料作成に高校生が携わるのもいいと思う。

【対象年代】

- ・ 高校生が関心を持てるようなコーナー。
- ・ 家族と一緒に見ることができる内容。
- ・ 年代別に内容を変えると読む人が増える。

編集方針・企画内容に関する意見

→毎号の企画の中で生かせるものをピックアップして活用していきます。

4 写真・字体

【写真】

- ・ 発言者の顔写真が入っており、どなたかが解って良い。
- ・ 議員の写真が証明写真の感じなので、もっとやわらかさがあっていい。
- ・ 表紙の写真に子どもを取り入れている。好印象である。
- ・ ホットとできる写真をあちこちにちりばめる。
- ・ 季節に合ったイラストを入れる。
- ・ カラーの部分も合ったら良い。
- ・ 写真は白黒のメリハリがあって良い。
- ・ 編集後記の似顔絵が面白い。他の議員の似顔絵も見たい。

【字体】

- ・ 文字やフォントの工夫が必要。
- ・ 見出しが長い10文字がベスト。
- ・ 吹き出しがある方が目に入りやすい。
- ・ 大切なところに二重線をつけてみよう。
- ・ 重要部分の文字を大きくしたり太くする。
- ・ 全てにルビを振ると文字が多くなり余計に読みにくくなる。
- ・ ひらがなが多いと良いのでは ←→ ひらがなばかりでもよみにくい。

紙面構成に関する意見

→ 毎号の紙面構成で参考として活用していきます。

5 その他

- 自分の町の議会だよりを見たことがない。
- 配布（送付）されていても気がつかない。
- 議会に興味がないから読まないけど視覚的に興味を持ったら読むかもしれない。
- オリジナルキャラクターを作ってみてはどうか。

編集方針・企画内容に関する意見

→ 毎号の企画の中で生かせるものをピックアップして活用していきます。

(2) 意見交換会を終えての感想など

- 話をして見て初めて良い印象を得た。
- まわりに議員がいなくて分からなかったけど、笑えて話ができた。
- 今年も楽しく話ができた。(百聞は一見に如かず)
- 素直に聞き入れてくれて、認めてくれた。
- 身近に感じ、多くのことを話せて良かった。
- 議会モニター制度があるが、モニターになれる要件に 18 歳以上になっており、高校生が入っていない。高校生も対象にしては。若者の意見も取り入れては。
- 通学路の除雪が遅い。また、きちんと除雪されていない。
- 大成駅から校舎までの除雪もお願いしたい。
- 芝のあるサッカー練習場があったらよい。
- 通学路の歩道の除雪をきちんとしっかりやって欲しい。
- 町中にごみが散乱している。きれいな街並みにして欲しい。
- みんなが楽しめる祭りが無い。寂しい。

(3) モニター制度について

- モニターって何？と思った。
- たまたま募集の説明があったので分かった。
- モニターがいること初めて知った。
- この記事を読んでモニター制度は良いと思った。
- モニターさんからの声については親しみやすい。

(4) SNS の活用について

- フェイスブックは高校生あまり利用しない。
- ツイッターの方が拡散力があるのに若者のフォロワーが少ない。
- 携帯からダイレクトに議会だよりにジャンプできないと意味がない(ハッシュタグの利用なども)。
- 高校生にとって今は、ツイッターの時代。そしてインスタグラム、ラインでフェイスブックが一番下のランクである。高校生にとっても分かりやすい議会を目指して欲しい。

その他の意見

→各委員会へ振り分けて、必要に応じて協議の課題としていきます。

(5) その他

- 芽高と地域はもっとつながりたいけど方法がわからない。
- 学祭を地域の人たちと盛り上げたい（行灯行列も）ので広報などで周知できないか。
- 地域のイベントに高校生も参加したい。

(6) 今学校生活で困っている事

- 自転車での登下校時に中学生と2線通りで交差するので混雑している時は危険
 - テスト期間中のJRがものすごく混雑するのでその時だけでも車両増やして欲しい
 - 住宅街の街灯が暗いのでこの時期（日没が早い時期）は不安だし普段もバイトで遅くなる時も不安
 - 売店のメニューが少ない
 - 売店がお昼休みにしか開いていない
 - コンビニが遠い
- 高校生でも、自分たちで要求して意見を言い、環境を変えることができるという事を知っていてほしい。それも立派な政治参加であることを早苗議員が伝える。

(7) 学校にあったら良いと思うもの

- ・充電スペース ・シャワールーム ・アイスの自販機 ・Wi-Fi
- ・コンビニ ・エレベーター ・食堂 ・マック ・網戸

その他の意見

→各委員会へ振り分けて、必要に応じて協議の課題としていきます。

■議会未来フォーラムⅢ

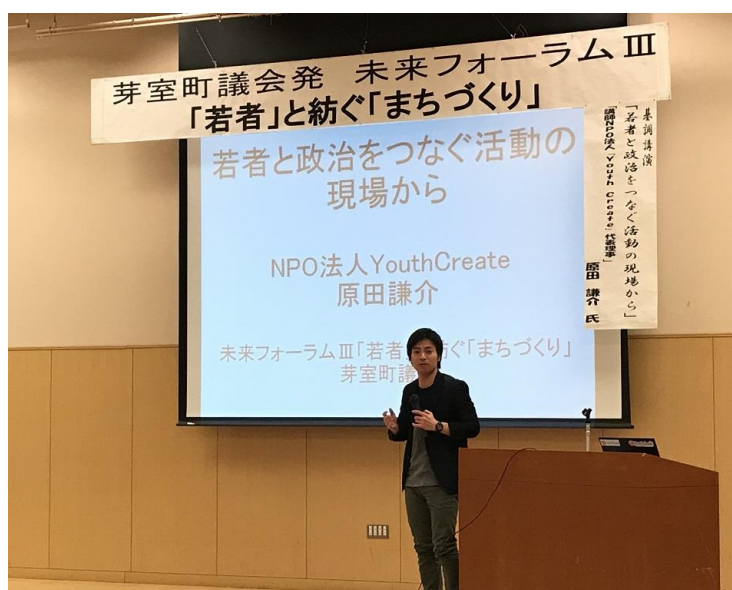
日 時：	平成 30 年 2 月 10 日（土）14:30～17:00
場 所：	「めむろーど」2F セミナーホール
出席者数：	73 人
テ ー マ：	- 「若者」と紡ぐ「まちづくり」 -
講 師：	NPO 法人「Youth Create」代表理事 原田謙介 氏

平成 28 年 3 月、芽室町議会が開催した『未来フォーラム』では、地方創生の課題について、食・経済・子どもの未来を考える視点から、多くの『気づき』をいただきました。この気づきを基に、平成 29 年 3 月開催の『未来フォーラムⅡ』では、「キャリア教育」の実践例による講演と、地域における社会教育の必要性を問うパネルディスカッションを通して、人口減少社会においても『衰退しない地域』になるために、住民・議会はどう行動していくべきなのか、地域住民と共に意識醸成と課題共有を図りました。

今回の「未来フォーラムⅢ」では、「まちづくり＝大人の役割」としてきた従来の感覚を取り払い、次世代を担う若者に対して、いかに早い段階から地元の課題解決に参画できるための機会を提供できるのか。地元社会に対する当事者意識の早期形成の意義と必要性を考えるべく開催したものであります。

第 1 部の基調講演では、NPO 法人「Youth Create」代表理事 原田謙介 氏を講師としてお招きし、「若者と政治をつなぐ活動の現場から」と題して講演を行いました。

原田氏は、大学生時代から含め、約 10 年間、若者と政治をつなぐ活動を行ってきており、次の時代を生き担っていく若者世代がもっと社会・政治に関わることでできる社会を作っていくとともに、若者だけではなく大人や地域も変わっていく必要があると訴えます。そして、「政治は大事だ」という言葉を伝えるだけではなく、政治や町に関わる必要性や楽しさを体感していくための多様な機会が必要との認識をお持ちで、講演では、教育現場・地域などでの様々な実践を通しての視点をお伝えいただきました。



また、第2部では「まちづくりは「オトナ」だけの役割か？」をテーマに、議員全員が7つのグループに分かれ、それぞれファシリテータとしてグループディスカッションに臨みました。

高校生から大人まで、会場を訪れた70人の参加者とともに、「町に関わりたい理由と関わりにくい理由」「多世代で町に関わることによる可能性と難しさ」「今後あなたができること。みんなでできること」の3つを課題として、自由に語り合いました。

議会としても、このフォーラムを通じて「多様な世代がまちづくりへ参加できる場」の重要性を参加の皆さんと共有することができ、今後、本町にどのような形の「場」が必要か、更に議論と検討を進めていく予定です。



◆グループディスカッションの意見

1 町に関わりたい理由と関わりにくい理由

(1) 関わったこと・関わりたい理由

- ・氷冬夜の準備
- ・町のイベント関係に協力
- ・子供達の PTA 関係の運営
- ・学校行事への参加
- ・町の組織作りに参加
- ・イベントでの「ヒーロー役」をやった
- ・いろいろなイベントに参加

- ・芽室が好きだから
- ・子どものため
- ・介護で助けてもらっているので、自分にできることがあれば
- ・子ども世代に誇れる町、住みたいと思える町にするため
- ・20代～30代の意見を反映させたいと思ったから
- ・仕事柄や商工会の関係で
- ・住みやすい町、芽室が好き。
- ・みんなと何かをするのが楽しい。
- ・給食がおいしかったのが忘れられない。(管理栄養士になって、芽室に戻りたい。給食センターとか、関われる仕事に就きたい。)
- ・農業をしている事、そのこと自体が町との関わりと思っている。
- ・農業者の事を考えてくれている町だから。
- ・意見が反映されやすい。
- ・町外の高校に通う生徒とも意見交換の場を設けて欲しい。(町との関わりのためにも)
- ・ジッケンジャーとして町の小学校に出動している。
- ・素晴らしい図書館があって、高校が2つもある町。
- ・定年になり時間的に余裕ができています
- ・不満な事柄を少しでも変えていくために話をするのが政治につながる
- ・町の規模が小さいから意見が反映されやすい
- ・明るい未来を求めて、子ども達のために意見を言う・自分の町を「好き」といえる子どもを育てたいから
- ・この町に生まれたから
- ・もっと住みやすい町にしたいから
- ・もっとこの町の良いところを増やしたいから
- ・祖母と標語を作り、地域に置くボランティアをしたこと
- ・行政の施策が自分に大きく関わるから
- ・コミュニティースクールの実施と連携・早期実現したい
- ・生まれた町で、芽室が好きだから
- ・町を知らないから。町を知りたいから
- ・町長が好きだから
- ・高校があるから
- ・町民なのに町を知らないのもどうかと自分ながら思うから
- ・子どもに継ぎたいから
- ・世代の違う人たちの状況を知りたい
- ・転居して自分の役割が自覚できるようになった

- ・地域を好きな人が多い
- ・病院、菓子屋さんなど特化したまちづくりになっている

(2) 関わりにくい理由

- ・高齢者だから町内会程度で十分
- ・踏み込む勇気がない
- ・仕事上の利害関係で出にくい場面がある
- ・きっかけが欲しい
- ・誰かがやってくれると思っている
- ・一度関わると後々面倒になる
- ・普段の生活であまり不便を感じていない
- ・関わる方法が分からない
- ・関心がない
- ・関わる機会がない
- ・敷居が高い
- ・話題に上がらない
- ・立場やイメージ
- ・関われる立場がない。
- ・身近に感じない。
- ・働く場所が町内にない。
- ・仕事が忙しい。
- ・具体的に何をすることが関わることなのかがわからない。
- ・家事のことが精一杯で時間的余裕がない
- ・年齢的にイベント等の行事に参加できない
- ・子育て、畑仕事、家事の事で精一杯
- ・家から遠いため、日常的に話し合いの場がない
- ・町の課題、争点のポイントが解らない
- ・どう関わってよいのかわからない
- ・身近に気軽に集える場所があると仲間を見つけやすい
- ・仕事が多忙で関われない
- ・職場（学校）以外で町のことに関わる機会や時間がない
- ・近年、議会と懇談した（芽高新聞部）他のクラブだとその機会がないのです
- ・仕事柄関わり難い
- ・分かりにくい
- ・仕事で忙しい
- ・機会がない



- ・（自分の住む町ではないから）情報が少ない
- ・帯広とか札幌の方に気が向いてしまうから
- ・町としてもっと栄え賑わいがあったらよい

2 多世代で町に関わることによる可能性と難しさ

(1) 関わり易さや可能性

- ・進学のため町外に行くから
- ・同世代だと楽しい
- ・同世代だと話題が似ている
- ・住んでいること、些細なこと、身近なことから始める
- ・関わることで自分では想像できなかった知識を得られるし、楽しいことをイメージしたり共有できる
- ・高齢者と若者が共有できる空間
- ・子どもとお年寄りの接点を持てる
- ・町の歴史を共有できる
- ・新しい発見、知恵の共有
- ・他の人と関わることにより知らなかったことを教えられたとき
- ・YOSAKOI やフォークダンスをやっている
- ・みんなで一つのことを成し遂げることは素晴らしい
- ・同じ世代は興味の持ち方も似ている
- ・つくること、加わることの楽しさがわかる。
- ・人の役に立てることが知れる。違う世代が関わると自分の役割が分かる
- ・世代間での困り感が違い、そのことを気づくことが楽しい
- ・久しぶりに高校生の意見を聞き可能性を知った
- ・ゲートボールで少年団と老人会が練習、試合を行っている
- ・共通の趣味で幅広い年齢層でゲートボールができる
- ・町内会の子ども達にめむろの歴史を語り継いでいる
- ・同じ町に住んでいても、異なる地域の人との交流は新鮮で楽しい
- ・女性農業者の集まりは年代に幅がある為（歳の差 30 歳以上）、若い世代からの話を聞くのは楽しい
- ・（↑）男性農業者には多世代が集う場がないのでうらやましい
- ・会う機会があれば、子育ての方法の相談や、教わることが出来る
- ・親世代が、もっと子供世代のことを理解して欲しい（SNS,LINE 等）
- ・同世代だと共通点が多いので、話しやすい
- ・同世代だと話が合う
- ・食育による、幼児期からの関わりをもつ

- ・町の未来が見える
- ・同世代だと話や趣味が合う、共感できる
- ・町内会の活動で多世代に触れることができる
- ・祭りや地域のイベントへの参加。まずは交流から
- ・気づきがある
- ・異世代だからこそできる助け合い

(2) 難しさ

- ・進学のため町外に行くから
- ・先輩からの押し付け（決めつけ）で意見が無視される
- ・小中学校の行事に行きづらい
- ・イベント実行委員がいつも一弛で近づけない
- ・やらずに無理と言ってしまう
- ・町内会役員に20代がいない
- ・若い人の意見が通りにくい
- ・限界集落になってしまいそう
- ・引き継ぐ、伝えていく難しさ
- ・多世代で行うイベント
- ・若者をつなぐパイプ役
- ・価値観
- ・共通項、持続
- ・世代により関心事がちがう
- ・高齢者は積極的、若者は消極的なことが多い
- ・学生にも参加してほしいけど忙しくて時間がない
- ・世代によって考え方がちがう
- ・年齢が上の人の意見が通りやすく、もう決まっている
- ・若い人はなかなか意見が言いにくく、反対意見に対峙できない
- ・違う世代との接点が希薄である
- ・若者は大人の中では肩身が狭く感じている
- ・自分たちには、まだ責任がないと思っている人が多い
- ・加わることの大切さ、子どもたちをどのように引き出すか、子どもたちの声をどのように聴き反映していくのか、教育が必要
- ・同世代の方達と関わることで家に引き込まらず、楽しい時間を過ごすことができる
- ・同世代の方が楽しく会話とか食事とかができる



- ・どの年代であっても下の年代の方に気配りをしてもらいたい
- ・団体、組織の中でトップになってくれる人がいない（自分になりたい）
- ・町内会の人数が減ってきており、交流の場がなくなっている
- ・自分が経営する会社での社員の平均年齢が 50 歳代。そもそも若者がいない現状である。「地方からの若者の流出」を実感している
- ・仕事での多忙感があり、そもそもの地域の活動に十分参加できていない現状がある。自分の時間が増えるともう少しいろんな活動が出来るかもしれない
- ・若い世代と関わる場がない
- ・話題が合わない
- ・地域の行事、祭りなど多世代が関われる場が少なくなっている事も一因
- ・同じような経験を経てきているので（子育て、介護など）共有しやすい
- ・同世代、同業だと話が盛り上がる
- ・価値観が違うので関わり難く、同世代の方が共通点が多いから
- ・町内会加入に若い親が加入していない
- ・興味が分散する
- ・意見が違いすぎる
- ・固定観念を押し付けられる
- ・遠慮がちになってしまう
- ・ジェネレーションギャップ
- ・学校が中心となる場以外が少ない
- ・説教されることがある
- ・生活時間が合わない
- ・多世代とどんな話をすればよいか分からない
- ・仕事ではチャンスがあってもプライベートでは無い
- ・壁を乗り越えないといけないと思う
- ・家族間でも何を話したら良いのか分からない
- ・近所など触れ合いたくても機会がなくなってきた



3 今後あなたができること・みんなでできること

- ・今日、このテーブルでたくさん話すことが出来てよかった。もっと周囲の人との会話することを意識したい
- ・地域の子どもたちの挨拶が素晴らしい。学校での教育の成果だと思う。自分もこれから心がけていきたい
- ・職場以外でも地域の中で、子どもたちに関わることをしていきたい
- ・現在取り組んでいるボランティア活動は人のためにもなるが自分自身の為にもなっている。これからも元気で頑張りたい

- ・社会の基本は家庭だと思う。家庭の中でもっと地域や社会のことについて話す機会をつくりたい
- ・フォーラム開会当初は「議会の事はわからない、どうしよう」と、とても緊張していたが、参加してよかった。もっといろんな人と話す事から始めてみたい
- ・若い人の参加しやすい多世代との交流の場作り
- ・友だちをたくさん誘ってイベントに参加する
- ・息子と老人ホームへボランティア活動へ
- ・赤ちゃんを連れて中学校へ行く
- ・教育機関へのアプローチを促進する
- ・親子でイベントに関わる
- ・参加しやすい雰囲気作りを目指す
- ・スマイルを読む
- ・高齢者の居場所作り
- ・自分ができることをやっていきたい
- ・大人になってから芽室に戻ってくる
- ・アイドルやヒーローを育てる
- ・おしゃべりをする
- ・テーマを変えてのおしゃべり会
- ・町の講演会などにも参加する
- ・お菓子付の月1回のおしゃべりの場
- ・仕事以外の友だちづくり
- ・楽しくグループワークできる人をつくる
- ・意見を言う、活動をする
- ・人と話したり、聞くことにより、自分の思いを他人に伝えることが大切
- ・軽い気持ちで集まりに参加する
- ・明るい未来を求めて、多くの人と語り合う
- ・何ごとにもやさしく接する
- ・仲間を増やす
- ・これまでこうしたフォーラムやセミナーに参加しても誰かに「話す」ことはなかった。でも自分が今日体験した事、感じた事を誰かに伝える事で、少しずつ関心の輪が広がるのではないかと思った
- ・今日感じたことですが、身近なこと（政治）であることを広める。
- ・自分で考えて見る、情報をうのみにしない
- ・身近な人と会話を増やす努力をしていきたい
- ・フォーラムの内容を広めて行きたい



- ・青年部をもっと盛り上げ、フォーラムのことを広めたい
- ・このような機会や、講演の内容を広めて行きたい
- ・事あるごとに、人口減少の危機感を持ってもらう
- ・世代の違う人からも慕われるように努力
- ・町を楽しむ
- ・ゲートボールを通じての多世代との交流
- ・食わず嫌いにならない
- ・新聞の取材を通じての交流からスタートする
- ・何かギネスに挑戦



「議会未来フォーラムⅢ」参加者アンケート集計結果

1 あなたのことを教えてください。（□にチェックをいれてください。）

（1）区分

●芽室町内在住の

□議会議員 □行政職員

□教育関係者 □農林業・・・15 商工業関係者 □学生・中高生

□その他・・・6（主婦 議会モニター会社員）

●芽室町以外に在住の

□議会議員・・・1 事務局職員 □行政職員

□教育関係者 □農林業・商工業関係者 □学生・中高生・・・5

□その他

（2）性別 □男性・・・13 □女性・・・15

（3）年齢 □10代・・・3 □20代・・・4 □30代・・・8
□40代・・・2 □50代・・・7 □60代・・・3
□70代以上・・・2

2 講演内容はいかがでしたか。

□大変参考になった・・・14 □参考になった・・・13
□あまり参考にならなかった・・・0

3 全体をとおして感想をお聞かせください。

- ① とても有意義な会だと思いました。議会発と聞くと最初は固いイメージだったのですが、参加してみると最初のイメージとは全く違う物でした。告知方法を工夫し、もっと多くの町民が参加したら良いと思いました。
- ② 多世代の方が若い人の意見も求めているという事が分かったので自分も少しでも貢献できればと思った。
- ③ 清水町の「第九」のように、多世代で何かに参加できると楽しそうですね。
- ④ 他世代の方の意見をきく良い機会だった。
- ⑤ 参考になり楽しかったです。学校の先生がいて良かった。
- ⑥ グループディスカッションの進めが難しいと感じた。
- ⑦ とても良い経験になりました。多世代の方々と触れ合うことができて、本当に良かったです。ありがとうございました。
- ⑧ 講演はとても分かりやすく、ユーモアがある中にも政治に参加することの大切さ意義深さを教えていただいた。グループワークも楽しく、もっと町の中に入っていかうと思いました。（自分のできる範囲ですが）ありがとうございました。
- ⑨ 貴重な機会をありがとうございました。参加して良かった。「政治」「選挙」「町との関わり」この辺のワードがみんなふわっとしたままだったのでこの辺を整理するとともに、みんな話しやすくなると思いました。
- ⑩ 高校生と話す機会がなかったので楽しかった。また若い人と話が出来る機会がほしい。
- ⑪ とても楽しませていただきました。ありがとうございました。農協青年部などで一緒にやれたらいいなと思いました。
- ⑫ 貴重な時間をいろんな話を聞くことができて良かったし、他の人にも伝えていけたらなと思います。
- ⑬ 町民参加で住みやすい町に一步一步近づいてくれると良いと思います。
- ⑭ 参加して良かったです。したしみやすい議会の運営をお願いします。
- ⑮ 同じテーブルに同じ団体からのメンバーがいたのが良かった。最初はキンチョウばかりでした。でも今日、参加できて良かったです。
- ⑯ 来るときは、かたい印象だったけど、参加してみて思いのほか話しく、自分の意見を上手く言えたので良かったです。もっとこういった機会をつくったらいいと思います。
- ⑰ 世代が大きく違う人との関わり方が今までは分からない事もあったが、今日グループで話した事をキッカケにいろんな人と関わるようにしよう

と思った。

- ⑱ 広い年代層が参加して多様な意見を聞く事が出来ました。
- ⑲ 原田さんの講話を聴いてまず「家族でご飯を食べる時どこへ行くのか」という例題がとても面白かったです。いろんな意見が出ていて、なるほどと思うこともありました。私は自分がスシが好きなのもありますが、一番年の高いおばあちゃんの意見を尊重すべきだと思いました。また、「大事な事に「関心がある」わけでもなく「関心が生まれる」かも知れない。という原田さんの言った言葉がとても印象に残りました。私は学生なので特になるほどと思いました。そして後半に行った意見交換では色々な意見を聞くことが出来ました。私（高校生）の意見と班にいる皆さんのでは世代も違うので認識や価値観が幅広く知れて、また、今後、私たち若い世代が何をすべきなのか、ちゃんと考えるべきだと思いました。とてもいい機会になりました。また、もっと多世代の人と会話しようと思いました。ありがとうございました。
- ⑳ 高校生の意見を聞いて良かった。
- ㉑ 芽室町議会は今回のような先進的な取組みがされている事に敬意を表します。主権者教育は18才の直前に始まるのではなく、幼保教育から必要と考えています。町づくりは何かのため、誰かのためということではなく、住民の生活そのものの中にあると思いました。
- ㉒ 選挙は大事だが政治に参加する一つの方法であること（検討しなければ・・・）ではなく（会話）でよいこと。政治への関わり方としてたいへん勉強になりました。多くの人がつながり、地域へ愛情をもつ芽室町を!そんな町づくりを更に進めたいです。

■議会モニター経験者との意見交換会

日 時：	平成 30 年 1 月 15 日（月）19:00～20:30
場 所：	ふれあい交流館 2 階大ホール
出席者数：	8 人
テ ー マ：	今後のモニター制度のあり方とは 各委員会の政策課題について

■モニター制度について

1 モニターを経験した感想

- ・当初は議会の役割もわからなかったが、努力して理解に努めた。モニター制度を作り上げることは手探りだった。
- ・初年度モニターだったので、わからないことがたくさんあったが、率直に思っていることを話した記憶がある。
- ・モニターは議会を知るきっかけになる。
- ・モニター1期生だったので率直に思っていることを議員にぶつけていた。
- ・モニターになるのにはハードルがある。→議会だよりに掲載されただけで、近所の人にも「すごいことやってるね」と言われた。
- ・モニターを受けた以上は責任がある。勉強もしなければいけない。
- ・いい制度だと思う。忙しくて直接議場には行けませんが、SNSなどの発信があるのでよい。
- ・町政や議会に関心が持てるようになった。議員の考えも聞けるし、いい制度だと思う。
- ・議員は地域から選出しているので比較的近い存在だが、それに比べて「議会」は距離感があった。町民目線で発言できた。
- ・町民目線で感じたことを発言してきた。知らないと言うことを伝えるのが自分の役目だと考えて発言してきた。議会のしくみを理解することが「議会を開く」ことにつながる。
- ・モニターとして意見を述べる範囲が広く、なにを言ったよいか戸惑うこともあるが、モニターはそれでよい。
- ・自分のできる範囲でかかわりができればよい。
- ・すべての会議に参加できなかったが、それでよい。
- ・町民の声をひとつでも議会に届けたい、という思いで続けてきた。
- ・モニター会議が3回、モニター同士での会議が3回行われていたので、議会を知る良い機会だった。

- ・垂れ流しになってはだめ。モニターからなにを得ようとして情報を提供するのか、明確にすべき。
- ・モニターの意見がどう反映されたのか・・・少し見えない部分もある。

2 開催頻度について

- ・モニター20 人を探すのも苦労しているのでは。あまり頻度が多いと負担になることもあるのでは。
- ・3 回くらいの開催がちょうどいいように感じた。

3 若い人の参加について

- ・これから若い人たちにどう参加してもらうかが課題だと思う。
- ・これからは若い世代の人たちが積極的にまちづくりにかかわってほしい。
- ・育児関係のネットワークは結構あるので、時間帯やお誘い方法など工夫しながら声をかけてはどうか。
- ・モニター会議への出席率を高めるためには、日中の時間帯に開催するのもひとつの方法では(特に子育て世代)。
- ・PTAとの意見交換会を開催しているが、それに加えて、保育園の保護者会などともやってみてはどうか。将来のPTAにもなるし、子どもの貧困対策にもつながるかもしれない。

4 モニター制度に期待するもの

- ・いろいろな人の意見を聞けるいい機会となる。
- ・モニター制度は試行錯誤しながら続けていってほしい。
- ・良い関係を築くことができている。地道な努力を続けていけばよい。
- ・モニター制度について知らない町民がいる。もっと議会として取組む必要があるのでは。
- ・各委員会の抽出事業と一町民が意見したいことのズレがある。モニターが主体的に進行するなどして町民目線でのテーマでやってみるのもひとつの方法では。
- ・現在モニター同士の会議が行われていないのはなぜだろう。
- ・モニター同士で集まったらという意見は去年も出ていた。
- ・モニター同士がお互いなにを考えているのか、理解し合う場が必要である。
- ・モニターをやめるとどうしても関心が薄れていく。どうつないでいくか。
- ・モニターOB会は薄れた関心が少し復活する。
- ・OB会をつくりたいと思うが、音頭を取ってくれる人が必要だと思う。

5. モニター経験者との意見交換会について

- ・モニター経験者との意見交換会は開催時期を再検討して、継続していったらどうか。
- ・意見交換会の時間はもう少し長いほうがよかった。参加人数にもよるが参加者が思ったことを発言できるような時間を確保してほしい。

6. 議会だよりについて

- ・議会だよりは非常に良い。他の自治体のも読む機会があるが、文字も紙も読みやすく良い。
- ・「議会だより」は文字数が多いので読みやすい工夫をしてほしい、と発言したこと。

■各委員会の政策課題について

1 総務経済常任委員会所管

(1) 観光振興について

- ・嵐山はトイレや展望台、駐車場など、もう少し整備や管理が行き届くようにしてはどうか。
- ・嵐山は道外の友人や知人が遊びに来た時に連れていきたい場所。しかし宿泊施設としては快適ではない。→要望などをどこに伝えたらいいのかわからない。
- ・より多くの人に利用してもらうために、唯一の観光資源をどう生かしていくのか、議会としても方向性を出してほしい。
- ・芽室は景観がよい場所が嵐山のほかにある。高速のサービスエリアを活用してもよい。
- ・嵐山を中心にサイクルツーリズム構想があるが、他町村とつながって事業を進めることも大事だ。
- ・芽室ならではの良さを発信してほしい。
(回答) サービスエリアには夏場、観光物産協会が出店し、芽室の物産を販売している。観光はひとつの町だけでなく、面として開発していくことが必要である。

2 厚生文教常任委員会所管

(1) 公立病院について

- ・公立病院は不採算部門も含めて地域医療に果たす役割は大きいので、一町民としては経営面だけで判断しないでほしい。

- ・特に産婦人科は管内でも少なく、子どもを産めるのは帯広の3病院と芽室だけで、西十勝で果たす役割は大きい。貴重な存在となっている。
- ・赤字解消に向けた取組みは必要。

(2) 子どもの居場所づくりについて

- ・寺子屋的なものをやってほしい。
- ・退職教員が常駐していて学力支援をしてくれるような取組みをもっとやってほしい。そのことが居場所づくりにもつながるのではないかと思います。

(3) 子どもの貧困について

- ・貧困や格差を感じるような場面がなく、貧困が実感できない。
- (回答) 見た目ではわかりづらい貧困、格差に対応するためにはじめた事業である。必要な人に支援が行き届いているのか、今後も委員会において調査していく。

■ その他

①パブリックコメントについて

- ・出したことがあるがゼロ回答だった。ほぼ決まっていることに対して意見してもしょうがないようなところもあり、パブコメのあり方の問題とも思う。





北海道芽室町議会

082-8651

北海道河西郡芽室町東2条2丁目14番地

<http://www.memuro.net/gikai/gikai.htm>

e-mail g-shomu@memuro.net

tel0155-62-9731 fax0155-62-9813